

第4章 事業計画

第4章 事業計画

4-1 施工計画

4-1-1 施工方針

本プロジェクトは、日本国政府の閣議決定を経て両国政府間で交換公文が締結された後、日本国政府の無償資金協力により実施される予定である。本プロジェクトの場合、施設の建設に係わる基本事項は以下のとおりとなる。

(1) 工期

本プロジェクトの対象となる工事内容は、新築建物約10,000m²の建設工事と看護教育関連の機材の調達及び据え付けを行う機材工事となる。工期はそれぞれの工事内容や規模、及び建設予定地の現況や建設資材の調達状況等の建設技術上の条件を考慮すると建設工事が16ヶ月、機材工事は現地製作機材工事が14ヶ月であるから全体工期は16ヶ月となる。

(2) 発注方式

建設工事及び機材工事の受注者はそれぞれ日本国法人の総合建設会社及び商社、または両者を構成員とするコンソーシアムを応札者とする条件付公開競争入札により選定される。本計画は機材工事に給排水、給湯及び給電との接続を要する等の取り付け工事が必要な機材または専門技術者による調達段階での管理を要する現地製作機材が多く含まれているため、建設工事と機材工事を一括して、総合建設会社と商社により構成されるコンソーシアムに発注する形態が妥当である。

しかし、建設工事と機材工事に分離発注される場合は、現地製作及び取付工事が必要な機材を機材工事から除外し、建設工事に加えて発注することにより当該機材工事の品質確保を図ることが望ましい。

(3) スリ・ランカ国政府側のプロジェクト実施体制

本プロジェクトは保健、ハイウェイ、社会サービス省(Ministry of Health, Highways and Social Services)の管轄下で実施される。本プロジェクトの実施に係わるコンサルタント契約、工事契約、銀行取り極めなどの諸契約の手続きについても同省が契約当事者とな

る。また、大蔵省(Ministry of Finance)管轄下の対外資金局(Department of External Resources)は日本国政府からの無償資金協力の受け入れ窓口として同国政府間の資金協力取り極めに関する業務を行う。

(4) 施工体制

1) コンサルタント

本プロジェクトの実施に関し、日本、スリ・ランカ両国間で無償資金協力についての交換公文が締結された後、直ちに、スリ・ランカ国政府は日本のコンサルタントと設計監理契約を結び、日本国政府の認証を受ける必要がある。契約締結後、コンサルタントはスリ・ランカ国政府と協議の上、基本設計調査報告書に基づいて詳細設計図書を作成し、引続き入札業務及び施工監理業務を実施する。

2) 工事請負業者

本プロジェクトの建設工事は、建屋及び看護教育機材のそれぞれの工事内容から判断して、建設を担当する総合建設会社と機材を担当する商社を構成員とするコンソーシアムに発注することが妥当である。しかし、建屋の施工を行う建設工事と機材の調達・据付けを行う機材工事に分割して発注することも可能である。コンソーシアムの構成員、または建設工事及び機材工事のそれぞれの請負業者は、一定の資格を有する日本の業者の中から公開競争入札により選定される。スリ・ランカ国政府は入札結果を踏まえ、原則として最低価格入札者と契約を締結し、日本国政府の認証を受ける。工事請負業者は契約書に記載された期日までに工事を完了し施設・機材をスリ・ランカ国政府に引き渡せねばならない。

4-1-2 施工上の留意事項

(1) 建設事情

1) 現地コンサルタント

スリ・ランカ国では、コロンボ市を中心に10~20名規模のコンサルタントが数社ある。これらのコンサルタントの所員は海外、特にイギリス、オーストラリア等で教

育を受けており、詳細設計図の作成能力、施工監理能力等に優れている。また、日本以外の外国からの資金協力プロジェクトにおいて、詳細設計図の作成を担当した経験を有するものも多い。日本のコンサルタントによる管理下に詳細設計図を作成できる可能性は高い。

2) 現地建設業者

スリ・ランカ国政府が発注する大型建設工事の大部分は国家技術公社(Central Engineering Consultancy Bureau)及び各省庁の建築部が設計から工事施工までを一括して行う。民間の現地建設業者も活発な活動を行っており、公共工事をはじめ、外国系企業の発注する工事において労務者を段取る下請業者として参入されているが、まだ専門職能工が不足しており、品質、工程、資材等の管理能力に問題が多い。本施設建設工事に現地建設業者を活用する場合、日本の施工会社は工事の種類、規模毎に数社の現地建設業者に分離発注するとともに、品質管理の面から日本人技術者の十分な管理が重要である。

3) 現地建設材料

スリ・ランカ国では、一般的に使用する建設材料は生産、あるいは輸入販売されており、一応の現地調達が可能である。しかし、品質の点で問題のあるものが多く、供給量も少なく不安定である。また、製品毎の種類等も限定される。品質の良い材料を適切な時期に必要な量調達することが要求される本プロジェクトの場合は、輸送費及び調達国の国内税を含む単価比較を行い、最も経済的な調達計画を策定する。

(2) 施工上の留意点

建設予定地の現状及び建設事情から判断し、本施設建設にあたっては以下の点に留意しなければならない。

1. 既存の病院の構内道路を利用して建設予定地に進入するため、資機材の搬入時など十分な安全対策が必要である。

2. 建設予定地はスリ・ジャヤワヤダナプラ総合病院の建設時に造成されたものであるため、地盤は軟弱な部分もあると考えられる。地盤の現状を把握し、仮設道路、足場などの保守、点検を十分に行う必要がある。
3. 現地では技能工が不足しており、工具、道具の類も十分でない。このため、日本の建設業者は現地作業員に対して技術指導及び品質管理を十分に行うことが不可欠である。
4. スリ・ランカ国政府は、輸入される建設資機材の輸入税等の支払及び通関手続きを迅速に行う必要がある。

4-1-3 施工区分

本施設の施工は、無償資金協力の枠組みに従い、日本国政府とスリ・ランカ国政府との協力によって実施される。施工にあたり両国がそれぞれ分担すべき工事、及び業務の内容は以下のとおりとする。

(1) 日本国政府による負担工事

1. 施設関係
 - 本基本設計報告書に記載された建物の施工
 - 建物の電気・空調・衛生設備
2. 機材関係
 - 機材調達
 - 機材の据付け
3. 基幹工事関係
 - 受変電設備
 - 敷地内の給水・排水設備
4. 外構工事関係
 - 構内道路、駐車場

- 腐敗槽設備
- 汚水ポンプ設備

5. 関連手続業務等

- 日本国、及び第3国からスリ・ランカ国への資機材輸送
- 資機材輸送に係る手続業務

(2) スリ・ランカ国政府による負担工事

1. 敷地、外構内工事関係

- 本施設建設に必要な敷地の確保
- 敷地内の既存構造物や樹木等の障害物の撤去、及び整地
- 敷地への進入路の建設
- 塀などの外部施設の建設
- 植栽、造園などの外構工事

2. 基幹工事関係

- 電力引込み
- 電話引込み
- 給水・排水接続

3. 建設準備関係

- 仮設事務所、作業場、資材置場等の敷地提供
- 工事用仮設電力、電話敷設

4. 什器・備品関係

- 日本国政府側による負担工事範囲外の什器・備品・家具等

5. 手続業務・費用負担等

- 銀行取極めに伴う費用
- 免税手続に伴う費用
- 通関及び内陸輸送に係わる迅速な措置

- 認証された契約に基づき、計画実施に携わる日本人に対して、スリ・ランカ国内で課せられる関税、国内税、その他の財政課徴金に対する免税手続
- 同上の日本人が業務を遂行するためのスリ・ランカ国への入国、滞在に必要な便宜
- 施設・機材が適切かつ効果的に運営されるための維持管理費
- 建設にかかわる諸手続に伴う費用

4-1-4 施工監理計画

日本国政府による無償資金協力の方式に従い、日本法人コンサルタント会社はスリ・ランカ国政府側の計画実施機関との間でコンサルタント契約を締結し、本プロジェクトの詳細設計及び施工監理を行う。施工監理の目的は工事が設計図書どおりに実施されているか否か確認し、工事契約内容の適正な履行を確保するために公正な立場に立って、施工期間中の指導・助言・調整を行い、品質の向上を図ることにあり、次の業務からなっている。

1. 入札及び工事契約に関する協力

建設工事、及び機材工事に係る日本の請負会社選定のため、入札に必要な入札図書等を作成し、入札公告、入札参加願の受理、資格審査、入札図書の配布、応札書類の受理、入札結果評価等の入札業務を行うと共に、スリ・ランカ国側の計画実施機関と請負会社との間の工事契約締結に係る助言をする。

2. 工事請負業者に対する指導・助言・調整

施工工程、施工計画、建設資機材調達計画、機材調達・据付け計画等の検討を行い、工事請負者に対する指導・助言・調整を行う。

3. 施工図・製作図等の検査、及び承認

工事請負会社から提出される施工図・製作図・書類等の検査、指導を行い承認を与える。

4. 建設資機材・看護教育機材の確認、及び承認

工事請負会社が調達しようとする建設資機材、及び看護教育機材と契約図書との整合性を確認し、その採用に対する承認を与える。

5. 工事検査

必要に応じ、建築用部品、及び看護教育機材の製造工程における検査に立会い、品質及び性能の確保にあたる。

6. 工事進捗状況の報告

施工工程と施工現場の現況を把握し、工事の進捗状況を両国側に報告する。

7. 竣工検査及び試運転

施設や機材の竣工検査、及び試運転検査を行い、契約図書内容に合致していることを確認し、検査完了書をスリ・ランカ国側に提出する。

コンサルタントは上記の業務を遂行するに当たり本プロジェクトの規模から判断し、全工程を通して技術者1名をスリ・ランカ国に派遣するのが妥当である。この他、工事の進捗に応じ、適宜、技術者を現場に派遣し、必要な検査・指導・調整にあたらせると共に、日本国内側にも担当技術者を配置し、現地との連絡業務、及びバックアップにあたる体制を確立する。また、日本国政府関係者に対し、本計画の進捗状況・支払手続・竣工引き渡し等に関する必要諸事項の報告を行う。

4-1-5 資機材調達計画

(1) 資機材調達の方針

本施設に使用される資機材の調達に関し、以下の点に留意する必要がある。

1) 現地調達

施設完成後の補修、管理を容易に行うため、使用する資機材は可能な限り現地調達する。この場合、供給量を十分に把握した上で発注し、工事工程に影響を及ぼさないよう配慮する必要がある。

看護教育機材については、品質面、供給量等十分考慮した上で、使用可能なもの、あるいは維持管理を必要としない器具類については現地調達とする。また、印刷機、家電品など現地代理店による保守サービスが必要なものについては、現地で調達可能な輸入品を使用する。

2) 輸入調達

品質上問題があり、供給量が不十分と判断される資機材は日本または第3国からの調達とする。この場合、工事請負業者は輸入・通関に関し、スリ・ランカ国側計画実施機関と連絡を取り、諸手続が円滑に行われるよう手配する必要がある。

3) 資機材単価

梱包、輸送、保険費を含む輸入調達材と現地調達材のそれぞれの単価を比較し、単価が安い場合、あるいはその差が比較的少ないと判断される場合は現地調達材を優先して使用する。

(2) 建設資機材の調達計画

建設工事に使用する主な資機材の調達先を以下のとおり計画する。

1) 建設資機材の調達計画

表4-1 建設資機材調達計画

工事区分	資機材	調達先			備考
		現地	日本	第3国	
建築工事	セメント	○			供給量が不安定であるが、輸入品も含めると現地調達可能である。
	砂	○			川砂が入手可能。
	砂利	○			碎石が入手可能。
	鉄筋			○	現地で生産されていない。
	型枠			○	ベニア型枠材は現地生産していない。
	レンガ	○			現地で生産されている。
	コンクリートブロック	○			現地で生産されている。
	テラゾータイル	○			一般床材として現地で使用。ただし、種類は少ない。
	磁器タイル	○			現地で製造されている。種類は少ない。
	ガラス	○			現地で製造されている。
	瓦、スレート	○			現地で一般的に使用されている屋根材、品質は劣る。
	木材	○			現地で一般的に使用されている。
	珪酸カルシウム板			○	現地で生産されていない。
	金属建具			○	現地で生産されていない。

工事区分	資機材	調達先			備考
		現地	日本	第3国	
	木製建具 建具金物 塗料	○ ○		○	現地で製造されている。 現地生産されていない。 補修を優先し、現地調達とする。
設備工事	ポンプ ファン ルームエアコン 衛生器具 塩化ビニル管 白ガス管		○ ○	○ ○ ○ ○ ○	第3国製は品質が悪く故障が多い。 現地で製造されていない上、最も安価で入手可能。 最も安価な上に、現地で維持管理が可能。 同上 同上 同上
電気工事	変圧器 動力盤・電灯盤 照明器具 放送設備 火災報知器 電線管	○	○ ○	○ ○ ○ ○	現地で製造されている。 現地で製造されていない。 同上 現地で生産されていない上、最も安価で入手可能。 同上 最も安価で人手できる上、品質も信頼できる。

2) 看護教育機材の調達計画

表4-2 看護教育機材調達計画

機材名	調達先			備考
	現地	日本	第3国	
人体解剖模型(男子)		○		現地で製造されていない。
人体解剖模型(女子)		○		同上
人体骨格模型(可動韧带付)		○		同上
人体骨格模型(可動韧带無し)		○		同上
循環機構模型		○		同上
頭蓋骨模型		○		同上
心臓解剖模型		○		同上
心電図付動く心臓模型		○		同上
呼吸器官模型		○		同上
消化器官模型		○		同上
脳模型		○		同上
神経機構模型		○		同上

機材名	調達先			備考
	現地	日本	第3国	
筋肉模型		○		現地で製造されていない。
上肢筋肉模型		○		同上
皮膚断面模型		○		同上
眼球模型		○		同上
耳模型		○		同上
歯模型		○		同上
鼻、咽頭、喉頭模型		○		同上
腎、泌尿器系模型		○		同上
骨盤模型		○		同上
妊娠子宮模型		○		同上
胎児発育順序模型		○		同上
受胎過程模型		○		同上
病理模型(人体寄生虫)		○		同上
病理模型(小児ふん便)		○		同上
病理模型(トラコーマ)		○		同上
病理模型(歯槽膿漏)		○		同上
病理模型(病原菌)		○		同上
人体解剖掛け図		○		同上
シャーカステン	○			現地で入手可能。
実習モデル人形(成人)		○		訓練用機材のため現地で入手困難。
小児ケア用実習人形		○		同上
沐浴用モデル人形		○		同上
乳房マッサージ訓練セット		○		同上
分娩ファントム		○		同上
妊婦腹部触診モデル		○		同上
外科包帯用シュミレーター		○		同上
採血、静脈注射シュミレーター		○		同上
臀部筋肉注射シュミレーター		○		同上
導尿モデル(男性)		○		同上
導尿モデル(女性)		○		同上
人工蘇生人形(成人)		○		同上
ネブライザー	○			輸入品が調達可能。
全自動人工蘇生器	○			同上
心電図計(ポータブル)	○			同上
救急用器械セット	○			同上
酸素吸入装置	○			同上
酸素・吸引器パネル		○		現地で製造されていない。
陰圧吸引器	○			輸入品が調達可能。

機材名	調達先			備考
	現地	日本	第3国	
酸素テント	○			輸入品が調達可能。
未熟児用保育器	○			同上
ギャッジベット	○			同上
ギャッジベット用マットレス	○			同上
小児用ベッド	○			同上
小児ベッド用マットレス	○			同上
新生児用ベッド	○			同上
床頭台	○			現地産の製品が調達可能。
ベッドサイド椅子	○			同上
オーバーベッドテーブル(2本足)	○			同上
オーバーベッドテーブル(片足)	○			同上
スクリーン	○			同上
ベッドメイキングセット(成人用)	○			同上
ベッドメイキングセット(小児用)	○			同上
新生児リネンセット	○			同上
洗髪車		○		現地で製造されていない。
洗髪セット		○		同上
シャンプーチェアー		○		同上
消拭セット		○		同上
沐浴用品セット		○		同上
沐浴実習台		○		同上
マウスケアセット		○		同上
寝衣	○			現地製品調達可能。
新生児衣料用品セット	○			同上
バックレスト		○		現地で製造されていない。
離被架セット		○		同上
褥創予防用マットレス		○		同上
円座各種セット		○		同上
副木各種セット		○		同上
抑制帯セット		○		同上
車椅子(成人用)		○		輸入品が調達可能であるが品質に問題がある。
車椅子(小児用)		○		同上
ストレッチャー		○		同上
歩行器		○		同上
担架		○		同上
便器架台		○		同上
便器消毒器		○		現地で製造されていない。
浣腸セット		○		現地製品があるが品質的に問題がある。

機材名	調達先			備考
	現地	日本	第3国	
便器	○			輸入品が調達可能。
尿器	○			同上
計量セット	○			現地製品が調達可能。
ストマ処理セット		○		現地で製造されていない。
経管栄養セット		○		同上
受胎調節指導セット		○		同上
調乳準備セット		○		同上
搾乳器(手動式)	○			現地製品が調達可能。
診察用具セット		○		現地で製造されていない。
トラウベ聴診器	○			現地製品が調達可能。
耳鏡	○			輸入品が調達可能。
鼻鏡	○			同上
直腸鏡	○			同上
腔鏡(大)	○			同上
腔鏡(中)	○			同上
腔鏡(小)	○			同上
胃洗浄セット		○		現地で製造されていない。
点滴スタンド	○			輸入品が調達可能。
静脈注射用トレイ		○		現地製品があるが品質に問題がある。
点眼棒		○		同上
診察台	○			現地産の製品が調達可能。
診察用椅子	○			同上
手術器械セット	○			輸入品が調達可能。
外科用リネン		○		現地で調達不可能。
分娩セット	○			輸入品が調達可能。
気管切開セット	○			同上
腰椎穿刺セット	○			同上
与薬車	○			同上
上皿天秤		○		同上
調剤セット		○		同上
電法セット		○		同上
毛布	○			同上
自動製氷機		○		現地で調達不可能。
煮沸消毒器(大)	○			品質的に問題ないインド製が調達可能。
煮沸消毒器(小)	○			同上
ガーゼ缶(大・小)	○			同上
処置・包交カート		○		現地で調達可能であるが品質に問題がある。
包帯交換セット	○			輸入品が調達可能。
膿盆(大・中・小)	○			同上

機材名	調達先			備考
	現地	日本	第3国	
汚物缶		○		現地で調達不可能。
剃毛用具一式		○		同上
ベースン		○		現地で調達可能であるが品質に問題がある。
ベースン架台(2ヶ用)		○		同上
ベースン架台(1ヶ用)		○		同上
ブラシケーススタンド		○		現地で調達が不可能。
赤洗立て(ガラス管も含む)		○		同上
尿比重計		○		同上
体重計(成人用)		○		輸入品が調達可能であるが品質に問題がある。
体重計(小児用)		○		同上
身長計(成人用)		○		同上
身長計(小児用)		○		同上
握力計		○		現地で製造されていない。
ブレイスキー骨盤計		○		同上
視力表		○		同上
肺活量計		○		同上
マルチン人体測定器		○		同上
児頭測定器		○		同上
血圧計(水銀)		○		輸入品が調達可能であるが品質に問題がある。
血圧計(スタンド式)		○		同上
血圧計(アネロイド式)		○		同上
検温セット(水銀)		○		同上
聴診器(成人用)		○		同上
聴診器(教師用)		○		同上
聴診器(小児用)		○		同上
デジタル体温計		○		同上
婦人体温計		○		同上
直腸体温計		○		同上
顕微鏡	○			輸入品が調達可能である。
ガスコンロ	○			同上
食品模型		○		現地で製造されていない。
鍋類各種	○			現地市場に流通しており調達が可能である。
炊事用具セット	○			同上
洋食器セット	○			同上
ワゴン	○			同上
上皿自動秤	○			同上
計量器	○			同上

機材名	調達先			備考
	現地	日本	第3国	
計量スプーン	○			現地市場に流通しており調達が可能である。
炊飯器	○			同上
電子レンジ	○			同上
冷蔵庫	○			同上

表4-3 一般教育機材調達計画

機材名	調達先			備考
	現地	日本	第3国	
ホワイトボード		○		現地調達可能であるが品質的に問題がある。
黒板		○		同上
大型黒板(上下式壁付)		○		同上
図掛け		○		同上

表4-4 備品・その他機材調達計画

機材名	調達先			備考
	現地	日本	第3国	
耐火金庫	○			現地市場に常に流通しており調達が可能である。
冷蔵庫	○			同上
印刷機	○			同上
自動洗濯機	○			同上

表4-5 視聴覚機材計画

機材名	調達先			備考
	現地	日本	第3国	
ビデオモニターセット		○		現地で製造されていない。
ポータブルPAアンプ		○		同上
ビデオモニターセット		○		同上
PAシステム		○		同上
PAシステム		○		同上
Hi8ビデオカメラ		○		同上
実物投影機		○		同上
高出力オーバーヘッドプロジェクター		○		同上

表4-6 車輛調達計画

機材名	調達先			備考
	現地	日本	第3国	
ミニバス		○		

4-1-6 実施工程

本プロジェクトに関し、日本、スリ・ランカ両国間で交換公文が締結された場合、以下の各段階を経て施設の建設、機材の供与が実施される。

1. 実施設計業務

コンサルタントは設計監理契約の締結後、基本設計報告書に基づき、詳細設計図、仕様書、入札要項書等の作成を行う。この間、スリ・ランカ国側関係者と協議の上、各設計図書の承認を得るものとする。所要期間は3ヶ月と予想される。

2. 入札業務

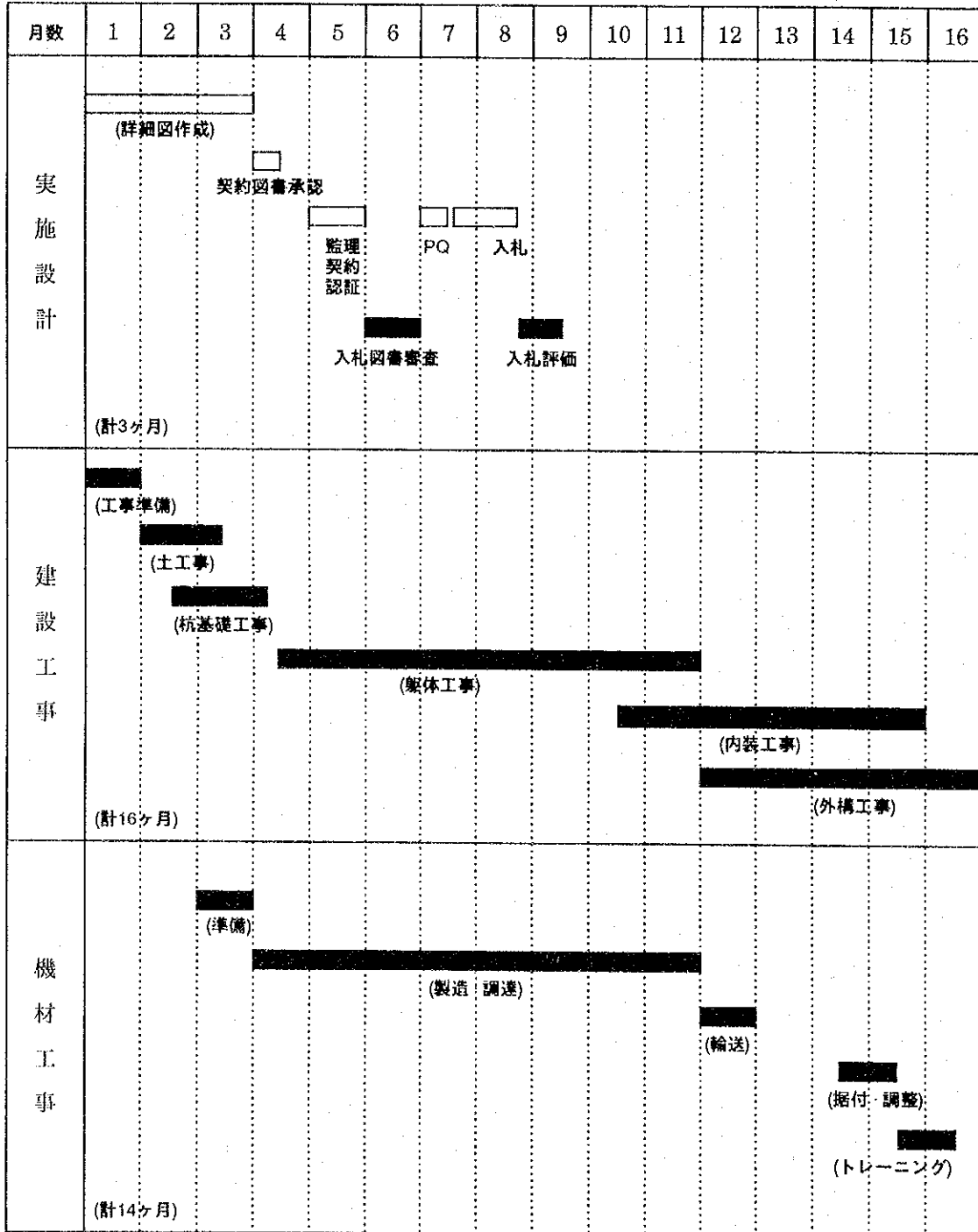
建設工事及び機材工事のそれぞれの請負業者は入札により決定される。入札は、入札公示、入札参加者の事前資格審査、入札、入札内容査定、請負業者の指名、工事契約の順に行われる。

3. 建設工事及び機材工事

本プロジェクトの施設内容、規模、及び現地建設事情から判断し、建設資材の調達、通関が順調に行われるとすれば、本施設の建設に係わる工期は、機材工事を含め、16ヶ月と想定される。

以上を勘案し、交換公文の締結から工事竣工に至る計画の実施工程は次表4-7に示すとおりである。

表4-7 事業工程表



4-2 概算事業費

4-2-1 概算事業費

(1) 積算条件

積算の条件を次のとおり設定する。

1. 積算時点 1996年11月
2. 為替交換率 1US\$=109円=53.72Rs
 1RS=2.02円
3. 工期 16ヶ月
4. 発注方式 日本国法人に対する建設工事と機材工事の分離発注
5. 免税措置 無償資金協力の枠組みに従い、スリ・ランカ国への資機材の輸入における関税、日本法人に対する事業税、所得税などスリ・ランカ国内の各種の税が免除される。

(2) 日本国政府が負担する概算工事費

建設工事費、機材工事費、及び設計監理費を含む日本国政府が負担する総事業費は約15.38億円と見込まれる。内訳は下表のとおりである。

表4-8 日本国政府負担工事費

区分	工事費(億円)
1. 建設費	11.91 億円
1) 直接工事費	(8.93)
2) 現場経費	(0.93)
3) 共通仮設費、その他	(2.05)
2. 機材費	1.84 億円
3. 設計監理費	1.63 億円
総事業費	15.38 億円

(3) スリ・ランカ国政府が負担する概算工事費

スリ・ランカ国政府が実施する工事の項目と概要、及び工事費は以下のとおりである。

1. 電力引込み	1,300,000 Rs
2. 電話回線	85,000 Rs
3. 給水	100,000 Rs
4. 下水	0
5. 敷地整備	2,800,000 Rs
6. 外周フェンスの建設	1,400,000 Rs
7. 家具、備品(一般家具、備品)	100,000 Rs
8. カーテン	46,000 Rs
9. 手続き業務・費用負担等	10,000 Rs
<hr/>	
総事業費	5,841,000 Rs

日本国側負担工事に関連して発生する関税、売上税、物品税、及び安全保障負担金等を実施機関が支払う必要がある場合は、上記事業費の他に下記の予算を確保しておく必要がある。

関税:	35,766,917 Rs
売上税:	37,606,825 Rs
物品税:	2,460,636 Rs
安全保障負担金:	10,325,024 Rs
<hr/>	
合計	86,159,402 Rs

4-2-2 運営維持管理費

本プロジェクトが実施された場合、施設・機材の運営維持管理のため、スリ・ランカ国政府が準備すべき予算は以下のように試算される。

表4-9 運営維持管理費

項目	金額
1. 施設運営費 -----	2,122,000 Rs/年
① 電気料金	1,198,000
② 電話料金	50,000
③ 水道料金	361,000
④ LPガス料金	441,000
⑤ 車両燃料費	72,000
2. 施設維持費 -----	324,000 Rs/年
① 施設維持費	100,000
② 施設機材維持費	200,000
③ 訓練機材維持費	24,000
小計	2,446,000
3. 教育経費	162,000 Rs/年
合計	2,608,000 Rs/年

(1) 施設運営費

① 電力料金 1,198,000 Rs

・ 最大需要電力計算

項目	設備負荷容量	最大需要率	最大電力(各棟ごと)
管理教育棟	75 kW	50% (昼)	37.5 kW 夕刻10kW
共用食堂棟	25 kW	50% (夕刻)	12.5 kW
宿舎棟	65 kW	70% (夕刻)	45.5 kW
その他	40 kW	50% (昼夜)	20 kW

上表より施設全体の最大電力は夕刻に生ずるものと考えられる。最大電力は
 $10kW+12.5kW+45.5kW+20kW=88kW \approx 100kW$ 、従って契約電力は100kWとする。

・ 料金

基本料金

$$100\text{kW} \times 270\text{Rs/月} \times 12\text{ヶ月} = 324,000 \text{ Rs}$$

電力料金

$$\text{管理教育棟} \quad 75\text{kW} \times 0.3 \times 8\text{h/日} \times 25\text{日} \times 12\text{ヶ月} = 54,000 \text{ kWh}$$

$$\text{共用食堂棟} \quad 25\text{kW} \times 0.3 \times 3\text{h/日} \times 30\text{日} \times 12\text{ヶ月} = 27,000 \text{ kWh}$$

$$\text{宿舍棟} \quad 65\text{kW} \times 0.5 \times 8\text{h/日} \times 30\text{日} \times 12\text{ヶ月} = 93,600 \text{ kWh}$$

$$\text{その他} \quad 40\text{kW} \times 0.1 \times 6\text{h/日} \times 30\text{日} \times 12\text{ヶ月} = 8,640 \text{ kWh}$$

$$\text{計} \quad 158,940 \text{ kWh}$$

$$158,940 \text{ kWh} \times 5.5\text{Rs/kWh} = 874,000 \text{ Rs}$$

② 電話料金 50,000 Rs

月曜日から土曜日の1日平均通話数を40回と想定し、1回の通話を2分以内とする。

$$40\text{通話} \times 2\text{分} \times 1.98\text{Rs} \times 6\text{日/週} \times 52\text{週/年} = 49,420 \text{ Rs/年} \approx 50,000\text{Rs}$$

③ 水道料金 361,000 Rs/年

学生1人当たりの給水量を(学校; 60ℓ/日・人、宿舍; 100ℓ/日・人)として、計算する。

・ 年間消費量

$$(60\ell/\text{日} \cdot \text{人} \times 300\text{人} + 100\ell/\text{日} \cdot \text{人} \times 12\text{人}) \times 286\text{日/年} + 100\ell/\text{日} \cdot \text{人} \times 300 \times 364\text{日/年} \\ = 16,411\text{m}^3/\text{年}$$

・ 年間水道料金

$$\text{基本料金} \quad 20 \text{ Rs/月} \times 12\text{日} = 240 \text{ Rs/年}$$

$$\text{消費料金} \quad 16,411 \text{ m}^3/\text{年} \times 22\text{Rs/m}^3 = 361,042 \text{ Rs/年}$$

$$\text{合計} \quad 361,282 \text{ Rs/年}$$

④ LPガス料金 441,000 Rs

・ 1食当たりのガス消費料 800kcal/食

・ 1日当たりの給食数

学生	300人×3食/日・人	=	900食/日
教官	12人×1食/日・人	=	12食/日
合計			912食/日

・ 料金

$$912\text{食} \times 800\text{kcal/食} \times 286\text{日/年} \div 11,000\text{kcal/kg} \times 23.27\text{Rs/kg}$$

$$= 441,423 \text{ Rs}$$

$$\approx 441,000 \text{ Rs}$$

⑤ 車両燃料費 72,000 Rs/年

・ 車両1台

$$6,000 \text{ Rs/台} \cdot \text{月} \times 1\text{台} \times 12\text{ヶ月/年} = 72,000\text{Rs}$$

(2) 施設維持費

① 施設維持費	100,000 Rs/年
② 施設機材維持費	200,000 Rs/年
③ 訓練機材維持費	24,000 Rs/年

(3) 教育経費 162,000 Rs/年

(4) 給与、手当 13,414,620Rs

① 給与 3,658,620Rs

(職員58名に対する給与の年間合計)

② 生徒修学費 9,756,000 Rs

$$1\text{年次生徒} : 31,860 \text{ Rs/人} \times 100\text{人} = 3,186,000\text{Rs}$$

$$2\text{年次生徒} : 32,520 \text{ Rs/人} \times 100\text{人} = 3,252,000\text{Rs}$$

$$3\text{年次生徒} : 33,180 \text{ Rs/人} \times 100\text{人} = 3,318,000\text{Rs}$$

$$= 9,756,000 \text{ Rs}$$

第5章 プロジェクトの評価と提言

第5章 プロジェクトの評価と提言

5-1 妥当性にかかる実証・検証及び裨益効果

本プロジェクトが実施され、スリ・ランカ国側により適切な運営管理がなされた場合、下表に示すような効果と改善が得られる。

現状と問題点	本計画での対策	計画の効果
<p>1. 病院看護要員数の不足</p> <p>病院医療サービスの実務に就く看護要員(Grade II)が不足している。このため、地方下位病院の医療サービス水準の確保、及び上位病院での病床数や専門診療科の増強に支障を来している。スリ・ランカ国保健省によると1994年の不足数は5,365名であった。また、日本国側による必要看護要員数の検証においても同年で約5,000名が不足するとの結果を得ている。</p>	<p>入学定員100名規模の3年課程看護教育を行うため、国立看護学校を新たに設立することにより全国入学定員を100名増やし、1,100名体制とする。</p>	<p>本計画校開設により、全国入学定員を1,100名体制とした場合、現状に比べ養成される看護要員数が毎年100名増えることとなる。このことによりスリ・ランカ政府、保健省が目指す看護要員不足の解消に貢献できる。</p>
<p>2. 看護教育の内容</p> <p>2-1 看護実習</p> <p>現行の看護教育は病院実習に先立ち十分な実習が行われていない。</p> <p>2-2 科学実習</p> <p>生物学・化学・薬学等の実習は基礎看護教育課程においても重要であるが、既存校では行われていない。</p> <p>2-3 栄養実習</p> <p>栄養実習は、必要かつ重要な教科であるが既存校では行われていない。</p>	<p>2-1</p> <p>成人病床看護実習室、小児看護実習室、清潔・不潔処理実習を計画</p> <p>2-2</p> <p>大型の準備室と実験台等の多目的に使える設備のみ準備し、将来の必要性に対応できる計画とした。ただし、講義スペースは一般講義室を共用することとしている。</p> <p>2-3</p> <p>実習調理場、準備室を設けたが、講義・試食室部分は食堂と兼用できる計画とした。</p>	<p>2-1</p> <p>病院での臨床実習に先立ち、十分かつ効果的な演習(校内実習)を行うことにより、学習効率を高め、臨床実習に必要な技術を確保して臨床実習効果、及び患者へ提供するサービス及び安全性が高まる。</p> <p>これにより、将来は臨床実習時間を減らして、近年求められてきている人格形成、自己開発能力を高めるための教育へ振り向けることが可能となる。</p> <p>2-2</p> <p>プロ技による協力計画の実施により基礎科学の基本が習得できるため、卒業後の自力による向上能力の獲得等の教育効果が得られる。</p> <p>2-3</p> <p>プロ技による協力計画の実施により現行カリキュラムで要求されている栄養学の実習が可能となり、実体験の獲得ができるため、看護教育の質的向上が達成される。</p>
<p>3. 教育機材</p> <p>教育機材に必要な機材が大巾に不足しており、効果的な教育ができていない。</p>	<p>基礎看護教育に必要な演習(校内実習)用機材に重点を置いた計画とした。</p> <p>ベッド・モデル人形等の基本的な機材は約50名のグループが実習する場合に生徒4名当たり1台とした。</p>	<p>演習用機材を必要数設けることにより、スリ・ランカ国で重視されている病院での臨床実習技術の向上を図り、教育効果の増大と患者の安全確保を可能とする。</p>

5-2 技術協力・他ドナーとの連携

プロジェクト方式技術協力「スリ・ランカ看護教育プロジェクト」との関連

本計画は、現在スリ・ランカ国保健省で実施されているプロジェクト方式技術協力「スリ・ランカ看護教育プロジェクト」の事業計画に平行して実施される予定で、本計画による施設及び機材が完成した後は、主として本計画施設内で協力活動が行われていく。このように、本計画はプロジェクト方式技術協力の事業を支援するものとなっている。このため、プロジェクト方式技術協力の成果とあいまって、スリ・ランカ国の基礎看護教育の拡充の促進に大きく貢献することが期待され、既に実施されている技術協力の成果を確実なものとする意味からも、本プロジェクトの早期の実施が望まれる。

5-3 課題

(1) 実施段階での契約・承認手続きの迅速な対応

本計画は日本国の無償資金協力の枠組みに従って実施されるため、交換公文に記載された期限内、あるいは日本国政府の会計年度内に工事を完了せねばならないなどの時間的制約がある。このため、スリ・ランカ国側は特に交換公文の締結、コンサルタント契約、本基本設計調査報告書に基づいた詳細設計図書の承認、必要申請手続きとの許可の取得、工事に係る契約、輸入機材の関税免除等に係る手続きを迅速に行う必要がある。

(2) 計画実施予算

本計画の実施が平成8年度中に両国政府間で正式となった場合、スリ・ランカ国側は実施設計及び1997/98年度中に予定される建設工事実施に必要な経費に対する予算措置を速やかにとることが必要である。

(3) 運営予算

維持管理費の不足は施設・機材の耐久性を損なうとともに業務の効率を落とす。本計画の目的を達成させるため、維持管理に対する計画的な予算措置が必要である。

(4) 人員の配置

スリ・ランカ政府は本計画施設を円滑に運営していくために、計画施設の完成に合わせて1998年に校長1名、副校長1名、教官7名の合計9名を、また3年次生徒が入学する2000年には教官を3名増員し、合計12名体制とする必要がある。

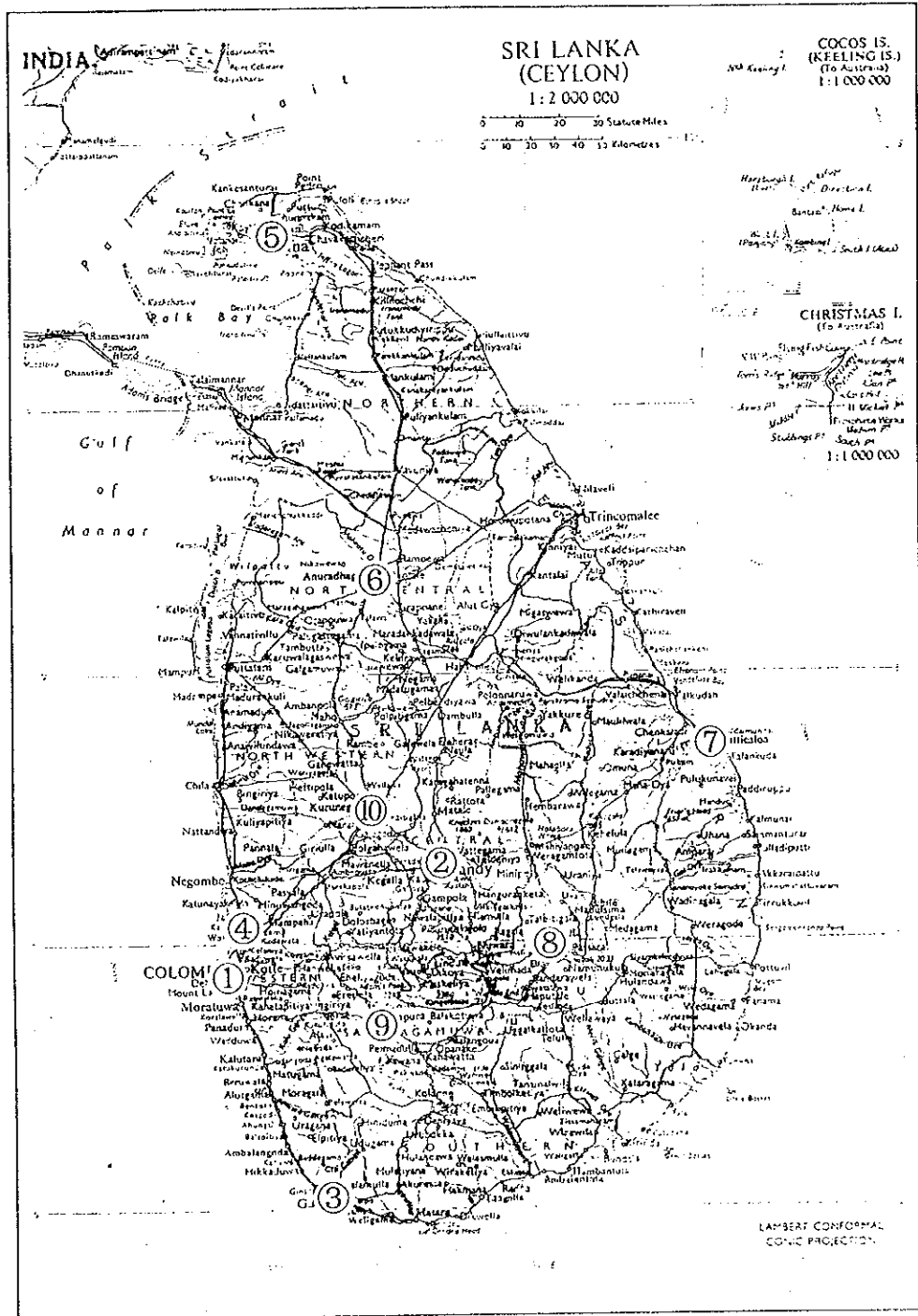
また、教官以外の要員として開校時に、図書司書1名、AV技術者1名、事務官3名、タイピスト2名、運転手2名、宿舍管理人4名、及びその他33名を確保する。

(5) スリ・ランカ側の将来負担

本計画施設の生徒宿泊室の最大収容人数を既存看護学校の現状を勘案して、全生徒数の70%とした。また、食堂の収容能力も宿泊生徒数分として通学生徒分は除外した計画である。スリ・ランカ国側は生徒宿泊室及び食堂に関して、将来の必要に応じ、本計画敷地内に準備されている拡張計画用地を利用した対応を考慮しておく必要がある。

資料

スリ・ランカ国立病院付属看護学校位置図



- | | |
|-------------|--------------|
| ① コロンボ看護学校 | ⑥ アヌラダプラ看護学校 |
| ② キャンディ看護学校 | ⑦ バティカロア看護学校 |
| ③ ゴール看護学校 | ⑧ バドゥーラ看護学校 |
| ④ カンダナ看護学校 | ⑨ ラトナプラ看護学校 |
| ⑤ ジャフナ看護学校 | ⑩ クルネガラ看護学校 |



1. 調査団員の構成

(1) 基本設計調査(平成8年5月21日~6月19日)

総括	木野本 浩之	国際協力事業団 無償資金協力調査部 調査第一課
技術参与	和賀 徳子	厚生省看護研修研究センター
業務主任/ 運営・維持管理計画	馬島 研	(株)山下設計
建築計画	新井 文雄	(株)山下設計
設備計画	浅倉 晴司	(株)山下設計
機材計画	道津 美岐子	(株)山下設計
調達計画/積算	島田 義一	(株)山下設計

(2) 基本設計概要説明調査(平成8年10月13日~10月24日)

総括	半田 祐二郎	国際協力事業団 国際協力専門員
技術参与	小松 静子	厚生省健康政策局看護課
計画管理	石沢 祐子	国際協力事業団無償資金協力調査部 調査第一課
業務主任/ 運営・維持管理計画	馬島 研	(株)山下設計
建築計画	新井 文雄	(株)山下設計
機材計画	道津 美岐子	(株)山下設計

2. 調査日程

(1) 基本設計調査 (平成8年5月21日~6月19日)

日程	月日(曜日)	内容
1	5月 21日 (火)	・ 東京発 シンガポール着、シンガポール発 コロンボ着 (木野本、和賀、馬島、新井、浅倉、道津)
2	5月 22日 (水)	・ プロ技協チームと協議 ・ 団内協議
3	5月 23日 (木)	・ JICAコロンボ事務所表敬訪問 ・ 大使館表敬訪問 ・ 大蔵省対外資金局表敬訪問及び協議 ・ 保健・ハイウェイ・社会サービス省と協議
4	5月 24日 (金)	・ スリ・ジャヤワルダナプラ総合病院訪問 ・ コロンボ看護学校視察
5	5月 25日 (土)	・ キャンデー看護学校視察
6	5月 26日 (日)	・ 団内打合せ ・ 資料整理
7	5月 27日 (月)	・ コロンボ看護学校調査 ・ 保健省にて協議 ・ 市役所にて建設法規等調査 ・ 自然条件調査依頼手続き
8	5月 28日 (火)	・ 保健省にて協議 ・ 建設予定地の視察 ・ JICA事務所にてミニッツ案の打合せ ・ 東京発 コロンボ着(島田)
9	5月 29日 (水)	・ 保健省にてミニッツ案の協議 ・ 団内打合せ、ミニッツ内容修正等
10	5月 30日 (木)	・ 保健省にてミニッツ署名 ・ BESにて看護教育機材の状況調査
11	5月 31日 (金)	・ 大使館、JICA事務所へ報告 ・ コロンボ発(木野本、和賀) ・ 保健省にて打合せ及び作業 ・ 建設予定地調査
12	6月 1日 (土)	・ 東京着(木野本、和賀) ・ 資料整理・解析 ・ 団内打合せ
13	6月 2日 (日)	・ 資料整理・解析 ・ 団内打合せ
14	6月 3日 (月)	・ コロンボ看護学校調査 ・ 建設事情調査 ・ 保健省にて打合せ
15	6月 4日 (火)	・ コロンボ看護学校調査 ・ 建設資材調査 ・ 機材市場調査

日程	月日(曜日)	内容
16	6月 5日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャンディー看護学校調査 ・ 建設事情及び関連法規等調査 ・ 建設市場調査
17	6月 6日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ カンダナ看護学校調査 ・ スリ・ジャヤワルダナプラ総合病院にて打合せ ・ 建設予定地詳細調査 ・ 建設事情及び関連法規等調査 ・ 機材及び建設資材市場調査
18	6月 7日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴール看護学校調査 ・ 建設事情及び市場調査
19	6月 8日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ・ スリ・ジャヤワルダナプラ総合病院にて打合せ ・ 収集資料整理及び解析
20	6月 9日 (日)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収集資料整理及び解析 ・ 団内打合せ
21	6月 10日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健省にて打合せ ・ コロンボ看護学校にて協議
22	6月 11日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ラトナプラ看護学校調査 ・ 建設市場及び関連法規等調査 ・ コロンボ発 シンガポール着(島田)
23	6月 12日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ クルネガラ看護学校調査 ・ 建設市場及び建設事情調査
24	6月 13日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健省にて協議 ・ NIHSカルタラ校訪問及び調査 ・ 建設事情及び機材市場調査
25	6月 14日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健省にて協議 ・ ムレリヤワ看護婦訓練学校訪問及び調査 ・ スリ・ジャヤワルダナプラ総合病院にて打合せ ・ コロンボ発 シンガポール着(浅倉)
26	6月 15日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設市場及び機材市場調査 ・ 収集資料整理及び解析 ・ シンガポール発(島田)
27	6月 16日 (日)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団内打合せ ・ 収集資料整理及び解析 ・ 東京着(島田)
28	6月 17日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健省にて協議 ・ JICA事務所及び大使館へ調査結果報告
29	6月 18日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロンボ発 シンガポール着(馬島、新井、道津) ・ シンガポール発(馬島、新井、浅倉、道津)
30	6月 19日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京着(馬島、新井、浅倉、道津)

(2) 基本設計概要説明調査(平成8年10月13日~10月24日)

日程	月日(曜日)	内容
1	10月 13日 (日)	<ul style="list-style-type: none"> 東京発 シンガポール着、シンガポール発 コロンボ着 (馬島、新井、道津) 団内打合せ
2	10月 14日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> 保健・ハイウェイ・社会サービス省(保健省)訪問、及び概要説明 大使館表敬訪問 大蔵省、対外資金局表敬訪問、及び概要説明 大蔵省、国家計画局表敬訪問、及び概要説明 スリ・ジャヤワルダナプラ総合病院訪問、及び協議
3	10月 15日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> スリ・ジャヤワルダナプラ総合病院にて基本設計概要説明 団内打合せ
4	10月 16日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> スリジャヤワルダナプラ総合病院にて基本設計概要説明 建設予定地の調査
5	10月 17日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> 保健省にて基本設計概要説明及び協議 消防署にて協議 団内打合せ
6	10月 18日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> 建設事情及び市場調査 機材市場調査
7	10月 19日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> 建設市場及び機材市場調査 団内打合せ コロンボ発 シンガポール着、シンガポール発 東京着(石沢) 東京発 シンガポール着、シンガポール発 コロンボ着(小松)
8	10月 20日 (日)	<ul style="list-style-type: none"> 団内打合せ 資料整理
9	10月 21日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> 保健省にてミニッツ案の提示 コロンボ看護学校訪問及び調査 建設事情調査
10	10月 22日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> 保健省にてミニッツ案の協議 NIHS(国立保健科学研究所)訪問及び調査 消防署と協議
11	10月 23日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> 保健省にてミニッツ署名 JICA事務所へ調査結果報告 大使館へ調査結果報告
12	10月 24日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> コロンボ発 バンコック着、バンコック発 東京着 (半田団長、小松、馬島、新井、道津)

3. スリ・ランカ国関係者リスト

保健、ハイウェイ、社会サービス省 (Ministry of Health, Highways and Social Services)

Dr. Dudley Dissanayake	Secretary
Dr. Lucian Jayasuriya	Additional Secretary
Dr. Reggie Perera	Director General of Health Services
Dr. K. C. S. Dalpatadu	Deputy Director General of Planning
Dr. V. Jeganathan	Deputy Director General of Medical Service
Mr. M. A. Jayasene	Senior Assistant Secretary
Mr. T. M. K. B. Tennekoon	Deputy Director General of Logistic
Dr. G. G. Thurusinghe	Director Planning
Mr. D. A. W. Premalal Liyanage	Chartered Engineer, Director of Buildings
Ms. N. C. De Costa	Director Nursing Education
Ms. K. Vithana	Director Nursing Medical Services

大蔵省 (Ministry of Finance)

対外資金局 (Department of External Resources)

Ms. D. D. J. Kudaligama	Additional Director General
Ms. A. S. M. S. Attanayake	Deputy Director
Mr. B. H. Passaperuma	Deputy Director
Mr. A. M. P. K. Attanayake	Assistant Director

計画局 (Department of National Planning)

Ms. W. A. S. Mahawewa	Deputy Director
-----------------------	-----------------

スリ・ジャヤワルダナプラ総合病院 (Sri Jayewardenepura General Hospital)

Dr. J. B. Peiris	Chairman
Dr. D. L. De Lanerolle	Director
Ms. H. A. S. Sirichandra	Chief Matron
Ms. M. Dayananda	Deputy Chief Matron
Ms. B. S. Abeywardena	Tutor Sister
Ms. M. W. Ranawaka	Tutor Sister
Ms. G. Samarawickrama	Tutor Sister

コロンボ総合病院 (Colombo General Hospital)

Dr. Rani Fernando	Deputy Director
Ms. Chandra Witthawa	Nursing Officer Speical Grade
Ms. R. J. Ratnalatha	Nursing Officer Special Grade

コロンボ看護学校 (School of Nursing, Colombo)

Ms. S. K. Paronavithana	Principal
Ms. V. D. Lankatilaka	Nursing Officer Special Grade
Ms. Malanie Ranasinghe	Nursing Tutor
Ms. H. L. H. Tissera	Nursing Tutor
Ms. D. P. Abeyratne	Nursing Tutor
Ms. K. A. P. Gunasinghe	Nursing Tutor
Ms. W. M. K. Warakapitiya	Nursing Tutor
Ms. P. L. Jayawardena	Nursing Tutor
Ms. B. D. C. Bandarage	Nursing Tutor
Ms. B. M. N. K. B. Menike	Nursing Tutor

キャンディー総合病院 (Kandy General Hospital)

Dr. A. M. L. Beligaswatti	Director
---------------------------	----------

キャンディー看護学校 (School of Nursing, Kandy)

Mr. H. M. J. Herath	Principal
Ms. A. M. Y. M. Watagodakumbure	Nursing Officer Special Grade
Ms. G. M. Gamage	Nursing Tutor
Ms. P. M. S. Subasinghe	Nursing Tutor
Ms. D. M. Abeykoon	Nurising Tutor
Ms. Memke Udnwella	Nursing Tutor
Ms. A. H. V. Sumatipala	Nursing Tutor
Ms. D. L. L. Periris	Nursing Tutor
Ms. R. M. P. Batangalawatte	Nursing Tutor
Ms. K. M. Gunaratne	Nursing Tutor

カンダナ看護学校 (School of Nursing, Kandana)

Ms. R. S. Marapana	Principal
--------------------	-----------

Ms. H. W. Halkesidana	Nursing Tutor
Ms. D. S. Hettiarachch	Nursing Tutor
Ms. H. A. G. Seneviraathe	Nursing Tutor

ラトナプラ看護学校 (School of Nursing, Ratnapura)

Ms. D. P. A. K. Weeraratne	Principal
Ms. D. M. Amerakoon	Nursing Tutor
Ms. S. Kalahe Arachchi	Nursing Tutor
Ms. S. Ratnayake	Nursing Tutor
Ms. T. P. G. K. Jayasinghe	Nursing Tutor
Ms. H. D. Jayakady	Nursing Tutor
Ms. S. Mathiwala	Nursing Tutor
Ms. B. J. Yasaratna	Nursing Tutor

クルネガラ看護学校 (School of Nursing, Kurunegala)

Ms. M. T. Amarasinghe	Principal
Mr. H. B. P. S. Weraahera	Nursing Tutor
Ms. E. A. Fernando	Nursing Tutor
Ms. T. D. S. Gunnatillake	Nursing Tutor
Ms. M. R. B. Piyatilaka	Nursing Tutor

ゴール看護学校 (School of Nursing, Galle)

Ms. M. G. B. Silva	Principal
Ms. Y. Malliyawadu	Vice Principal
Mr. L. Somapala	Nursing Tutor

コロンボ上級看護学校 (Post Basic School of Nursing, Colombo)

Ms. S. Abeyratne	Principal
Ms. W. T. L. De Costs	Senior Tutor
Ms. D. M. S. Dissanayaka	Senior Tutor
Ms. N. Vanlandenbera	Senior Tutor

保健科学研究所 (National Institute of Health Science)

Dr. S. A. P. Gnanissara	Director
-------------------------	----------

Dr. S. D. De Silva Deputy Director

ムレリヤワ精神科病院 (Mulleriyawa Mental Hospital)

Ms. P. L. A. P. Perera Acting Principal

医療機材保守・管理部 (Division of Biomedical Engineering Services)

Mr. J. L. M. K. Jayatilaka Acting Director
Mr. Takeshi Matsuo Medical Equipment Engineer

医療資材供給部 (Medical Supply Division)

Dr. B. F. S. Samaranyake Director

建設省中央技術コンサルティング公社 (Central Engineering Consulting Bureau)

Mr. H. P. R. Gunawardana Acting Project Manager, Hospital Tasks
Mr. D. R. P. Patairage Chief Engineer
Mr. E. A. P. L. Amaratunge Senior Architect
Ms. Kumari Senanayake Project Manager, Electrical Engineer

コロombo市役所 (Town Hall)

Mr. Raja Sawarawckrame Deputy Municipal Engineer

セイロン電力公社 (Ceylon electricity Board)

Mr. P. W. Amaradasa Electrical Engineer
Mr. N. H. Bardusens Electrical Engineer

スリ・ランカ通信局 (Sri Lanka Telecom Authority)

Mr. K. Selvarajah Chief Engineer
Mr. S. Ambalavanar Engineer

国家上下水道局 (National Water Supply & Drainage Board)

Mr. L. S. P. J. De Silva Deputy General Manager

Mr. N. Melawethanthrige

Manager

Mr. D. N. J. Ferdinando

Assistant General Manager

消防局 (Fire Service Department)

Mr. J. Kannangara

Fire Chief Officer

Mr. D. S. K. Jayawardena

Assistant Fire Chief Officer

在スリ・ランカ国日本大使館

野口 晏男

特命全権大使

神谷 武

公使

浅香 隆久

一等書記官 / 医務官

金井 要

一等書記官

JICAスリ・ランカ事務所

中村 欣功

所長 (基本設計調査)

狩野 良昭

所長

稲見 純子

所員

スリ・ランカ看護教育プロジェクト

佐々木 正子

チームリーダー

小林 繁郎

調整員

4. 該当国の社会・経済事情

国名	スリ・ランカ民主社会主義共和国
	Democratic Socialist of Sri Lanka

1996.10 1/2

一般指標				
政体	共和制	*1	首都	スリ・ジャヤワルダナプラセカ
元首	President Dingiri WIJETUNGA	*1	主要都市名	カレ、ジャフナ、マタレ
独立年月日	1948年02月04日	*1	経済活動可人口	7,000千人 (1994年)
人種(部族)構成	シンハラス74%、タミール18%、スリランカムーフ人7%	*4	義務教育年数	11年間 (1995年)
言語・公用語	シンハラ語74%、タミール語18%、英語	*1	初等教育就学率	—%
宗教	仏教69%、ヒンズー15%、キリスト教・回教各8%	*1	初等教育終了率	97.0% (1990年)
国連加盟	1955年12月	*2	識字率	89.6% (1993年)
世銀・IMF加盟	1950年08月	*3	人口密度	280.0409人/Km ² (1994年)
			人口増加率	1.18% (1994年)
			平均寿命	平均 71.9 男69.37 女74.55
			5歳児未満死亡率	19/1000 (1994年)
面積	65.61千Km ²	*4	カリ-供給量	2,275.0 cal/11/人 (1992年)
人口	18,129.85千人 (1994年)	*4		

経済指標				
通貨単位	スリ・ランカ・ルピー	*1	貿易量	(1995年)
為替レート(1US\$)	1US\$= 55.613 (7月)	*6	輸出	3,798.0百万ドル
会計年度	1月～ 12月	*1	輸入	5,185.0百万ドル
国家予算	(1994年)	*6	輸入カバー率	4.3% (1994年)
歳入	2,226.8 百万ドル	*6	主要輸出品目	繊維、茶、石油製品、ゴム
歳出	3,186.8 百万ドル	*6	主要輸入品目	食品、飲料品、繊維、石油
国際収支	298.1 百万ドル (1994年)	*6	日本への輸出	232.0百万ドル (1995年)
ODA受取額	595.00 百万ドル (1994年)	*8	日本からの輸入	429.0百万ドル (1995年)
国内総生産(GDP)	11,712.00 百万ドル (1994年)	*8		
一人当たりGNP	640.0 ドル (1994年)	*8	外貨準備総額	2,182.0百万ドル (1996年)
GDP産業別構成	農業 24.0% (1994年)	*8	対外債務残高	405.0百万ドル (1994年)
	鉱工業 25.0% (1994年)		対外債務返済率	9.9% (1994年)
	サービス業 51.0% (1994年)		インフレ率	8.2% (1993年)
産業別雇用	農業 48.0% (1990年)	*5		
	鉱工業 21.0% (1990年)			
	サービス業 31.0% (1990年)		国家開発計画	第14次公共投資計画 (1992年)
経済成長率	5.4% (1994年)	*8		

気象(1954年～1979年平均) 場所: Colombo (標高 7m)													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均/計
最高気温	30.0	31.0	31.0	31.0	31.0	29.0	29.0	29.0	29.0	29.0	29.0	29.0	29.7℃
最低気温	22.0	22.0	23.0	24.0	26.0	25.0	25.0	25.0	25.0	24.0	23.0	22.0	23.8℃
平均気温	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0℃
降水量	89.0	69.0	147.0	231.0	371.0	224.0	135.0	109.0	160.0	348.0	315.0	147.0	2,345.0 mm
雨期/乾期													

- *1 CIA World Fact book(1993)
- *2 States Member of the United Nations
- *3 World Bank Fax(1994)
- *4 CIA World Fact Book(1995-1996)
- *5 Human Development Report(1996)
- *6 International Financial Statistics
- *7 Statistical Yearbook 1995

- *8 World Development Report(1996)
- *9 World Debt Tables (1996)
- *10 世界の国一覽(外務省外務報道官編集)(1996)
- *11 最新世界各國要覽(1996)
- *12 理科年表1996(丸善)

国名	スリ・ランカ民主社会主義共和国
	Democratic Socialist of Sri Lanka

1996.10 2/2

*13

項目	年度	1994	1990	1991	1992
技術協力		3,087.67	2,382.47	2,515.30	2,699.97
無償資金協力		2,456.48	1,989.63	2,050.70	2,194.95
有償資金協力		4,352.21	5,676.39	7,364.47	5,852.05
総 額		9,896.36	10,048.49	11,930.47	10,746.97

*14

項目	歴年	1993	1994	1991	1992
技術協力		22.74	27.51	19.23	20.97
無償資金協力		71.70	53.59	48.05	43.78
有償資金協力		52.76	132.66	188.86	31.31
総 額		147.20	213.76	256.14	96.06

*13

	贈 与 (1)		有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1) + (2) = (3)	その他政府資金及び民間資金 (4)	経済協力総額 (3) + (4)
		技術協力				
二国間援助 (主要供与国)	227.30	106.00	21.50	248.80	0.90	249.70
1. 日本	64.80	21.00	31.30	96.10	0.00	96.10
2. アメリカ	48.00	23.00	4.00	52.00	0.00	52.00
3. ノルウェー	13.40	1.50	0.30	13.70	0.00	13.70
4. オーストラリア	5.60	4.10	0.00	5.60	7.60	13.20
多国間援助 (主要援助機関)	44.90	25.10	353.50	398.40	-10.70	387.70
1. INF	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2. ASDB	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そ の 他	0.60	0.00	-3.60	-3.00	0.00	-3.00
合 計	272.80	131.10	371.40	644.20	-9.80	634.40

*15

技術	関係各省庁→計画実施省国家計画局
無償	関係各省庁→計画実施省国家計画局
協力隊	関係各省庁→計画実施省国家計画局

*13 Geographical Distribution of Financial Flows of Developing Countries(1996)

*14 Japan's Official Development Assistance Annual Report (1995)

*15 国別協力情報(JICA)

5. その他のデータ

① 地質調査

M/S, YAMASITA SEKKAI INC.
6-26-1, MINAMI-OHI, SHINAGAWA -KU -
TOKYO - JAPAN

REPORT ON
SOILS INVESTIGATION
&
TOPOGRAPHIC SURVEY

AT

SRI JAYAWARDENAPURA
KOTTE

JUNE - 1996

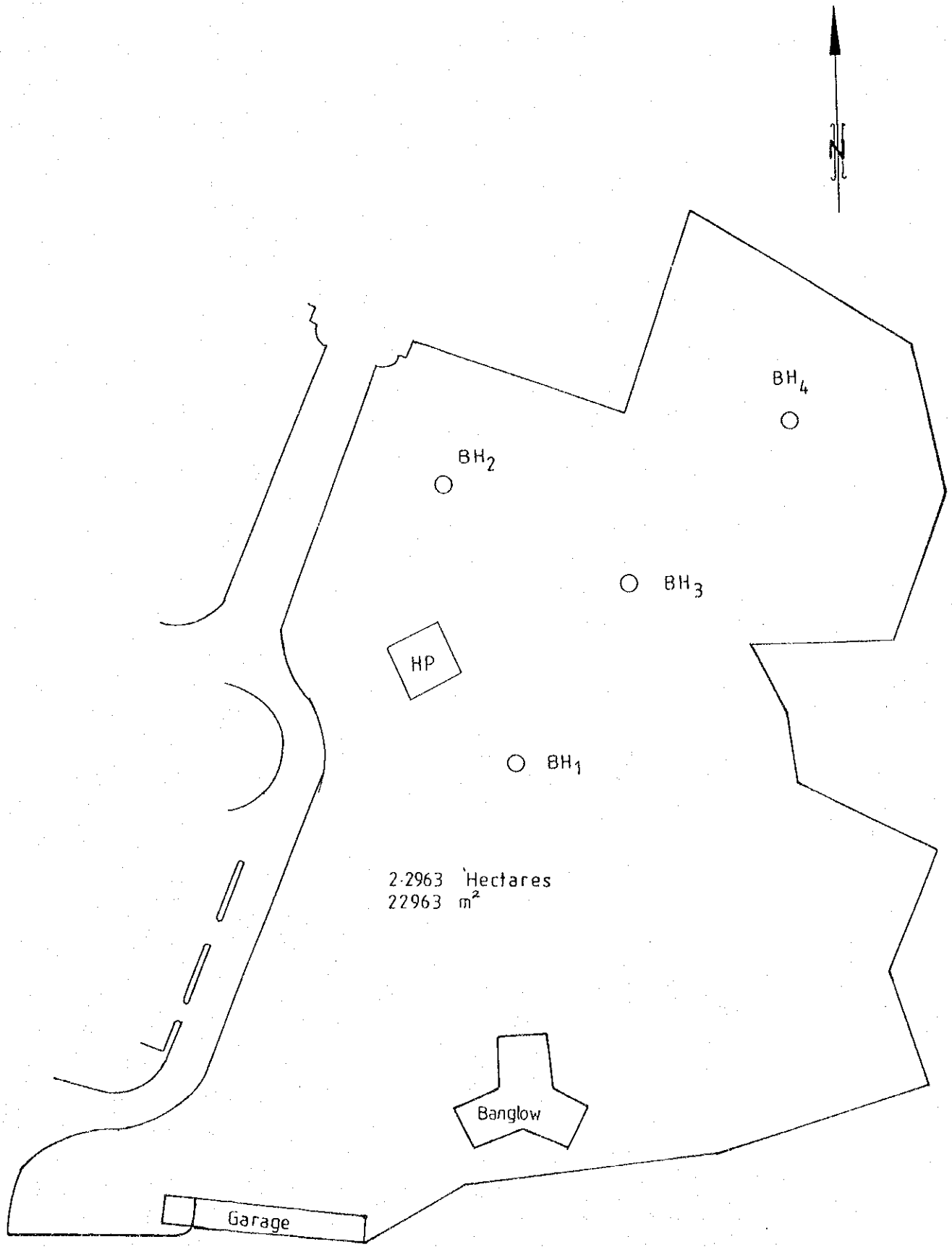
By

Samitar Limited

Project Office: 103, SIRI DHAMMA MAWATHA, COLOMBO 10. Phone: 697801, 697985, 698817
Regd. Office: 17, M. D. H. JAYAWARDANE MAWATHA, MAHANIYARA, MADDINNAGODA,
RAJAGIRIYA. Phone: 866699



Specialists in Soils and Materials Investigation Tests and Reports and for all
Multi-Disciplinary Consultancy Services
Consulting Engineers & Architects
Foreign Employment Recruiting Agency No. 1 Sri Lanka.



13
Location Plan

SOIL PROFILE

Project: _____ Elevation: _____ Date: 06/06/96
 Bore Hole No: 1 Water Level: 11.4m below Logged By: D.V.A. Senarath

Depth	Soil Symbol	Soil Classification	Description	Standard Penetration Test (Blow Test)														
				No.	Depth	N Value	Number Of Blows Per 30 Cm											
							0-10	10-20	20-30	30-40	40-50							
0.00																		
(1.00)	x o x o x o x o x o	GM	Dark reddish brown gravels mixed with coarse to medium dense sands from transported material with less than 10% non plastic fines, loose in place.	1														
1.00					1.00	21	7	7	7									
(0.45)	- -	SC	Dark reddish brown, coarse to fine lateritic sands with 15% moderately plastic fines mixed with building debris and particles, medium dense in place.	2														
1.45																		
(0.55)	- -	SC	Greyish brown, coarse to fine mainly medium grained, sub-rounded sand with around 15% moderately plastic fines, medium dense place.	3														
2.00					2.00	42	10	16	16									
(0.45)	- -	SP	Grey to reddish brown, sands with lateritic hard nodules upto 5mm in size with around 5% moderately plastic fines, dense in place.	4														
2.45																		
(0.55)	- -	SP	Greyish brown, coarse to fine but mainly medium grained sub - angular sands showing re-cemented nodular aggregates with little non plastic fines, medium dense in place.	5														
3.00					3.00	6	2	2	2									

SOIL PROFILE

Project: _____ Elevation: _____ Date: 06/06/96
 Bore Hole No: 1 Water Level: 11.4m below Logged By: D.V.A. Senarathne

Depth	Soil Symbol	Soil Classification	Description	Standard Penetration Test (Blow Test)											
				No.	Depth	N Value	Number Of Blows Per 30 Cm								
							0-10	10-20	20-30	30-40	40-50				
3.00			Dark grey, cobble size concreted particles grading down to gravels and coarse concretionary sands with no fines, loose in place.	6	3.00	6	2	2	2						
(0.45)	GP														
3.45			Reddish brown, lateritic silty clay mixed with 10% nodular friable lateritic gravels and containing about 25% sands medium stiff in place.	7											
(0.55)	ML														
4.00			Reddish brown, lateritic silty clay very small sample recovered due to water loss and cavities.	8	4.00	4	1	1	2						
(0.45)	ML														
4.45			(Total water Loss)												
			Reddish brown, lateritic silty clay very small sample recovered due to water loss and cavities.	9											
(0.55)	ML														
5.00			(Total water loss)		5.00	13	4	4	5						
			Reddish yellow, lateritic silty clay with over 30% friable nodular lateritic gravels, stiff in place.	10											
(1.00)	ML														
6.00			(Total water loss)		6.00	11	3	4	4						
			Reddish yellow silty lateritic clay, with over 5% nodular lateritic gravel, stiff in place.	11											
(1.00)	ML														
7.00			(Total water loss)		7.00	8	2	3	3						

SOIL PROFILE

Date : 06/06/96

Project :

Elevation :

Logged BY D.V.A. Senarathn

Bore Hole No : 1

Water Level : 11.4m below

Depth	Soil Symbol	Soil Classification	Description	Standard Penetration Test (Blow Test)																	
				No	Depth	N-value	CE			Number Of Blows Per 30 Cm											
							0	10	30	10	20	30	40	50							
7.00			Reddish yellow to brown lateritic sand with over 35% hard nodular cobbles and gravels and around 5% non plastic fines, loose in place. (Total water Loss)		7.00	8	2	3	3												
(1.00)		SP		12																	
8.00			Reddish brown, coarse to fine lateritic sand with over 30% nodular gravels and less than 5% fines, medium dense in place. (Total water loss)		8.00	20	4	8	8												
(1.00)		SP		13																	
9.00			Light reddish brown, coarse medium grained to fine, lateritic sand with around 10% to plastic fines, medium dense in place. (Total water loss)		9.00	18	3	6	9												
(1.00)		SM SC		14																	
10.00			Grey to yellowish brown coarse to fine lateritic sand mainly medium grained with around 20% silty fines, medium dense in place. (Total water loss)		10.00	17	4	6	7												
(1.00)		SM SC		15																	
11.00			<u>COMPLETELY WEATHERED ROCK</u> Ground down to coarse to fine greyish brown sand with around 15% friable iron minerals with less than 5% fines dense in place.		11.00	35	9	13	13												
(1.00)		SP		16																	
12.00					12.00	26	6	8	12												

SOIL PROFILE

Date: 06/06/96

Project:

Elevation:

Bore Hole No: 1

Water Level: 11.4m below

Logged By: D.V.A. Senarathne

Depth	Soil Symbol	Soil Classification	Description	Standard Penetration Test (Blow Test)																
				No.	Depth	N Value	CF			Number Of Blows Per 30 Cm										
							0	10	30	10	20	30	40	50						
12.00			<u>COMPLETELY WEATHERED ROCK</u>		12.00	26	6	8	12											
(1.00)	x	SM	Broken down to whitish grey brown friable nodules and silty sands with around 10% to 15% silty fines dense in place.	17																
13.00			<u>HIGHLY WEATHERED ROCK</u>		13.00	32	9	10	13											
(1.00)	x	SM	Ground down to grey brown partially friable rock aggregates and some silty to non plastic fines, dense in place.	18																
14.00			<u>HIGHLY WEATHERED ROCK</u>		14.00	33	7	10	16											
(0.75)	x	GM	Ground down to whitish grey brown intact friable rock pieces and around 50% reduced to silty plastic gravelly sands with little fines.	19																
15.00			<u>HOLE TERMINATED</u> <u>HIGHLY WEATHERED ROCK</u>		15.00															

SOIL PROFILE

Project: _____ Elevation: _____ Date: **06/06/96**
 Bore Hole No: **2** Water Level: **9.45m below** Logged By: **D.V.A. Serrano**

Depth	Soil Symbol	Soil Classification	Description	Standard Penetration Test (Blow Test)																
				No	Depth	N-Value	Number Of Blows Per 30 Cm													
							0-10	10-20	20-30	30-40	40-50									
0.00																				
(1.00)	○	GC/SC	Reddish brown, lateritic coarse to fine gravels, with over 35% coarse gravels over 5mm and some cobbles partly non friable with around 35% plastic fines, medium dense in place.	1																
1.00	○	SC	Reddish brown, lateritic coarse to fine sands with little gravels and over 35% plastic fines, dense in place.	2	1.00	14	5	5	4											
2.00	○	SC	Reddish brown, lateritic coarse but mainly medium grained sands with 35% plastic fines, medium dense in place.	3	2.00	39	4	17	18											
(1.00)	○	SC	Reddish brown, lateritic gravelly sand as above with 35% plastic fines, medium dense in place.	4	3.00	15	5	5	5											
3.00	○	SC	Reddish brown, lateritic gravelly coarse to fine sand with around 20% large non friable nodules and 30% plastic fines, medium dense in place.	5	4.00	12	4	4	4											
(1.00)	○	SM/ML	Dark greyish brown, lateritic silty mainly medium grained sands with around 50% silty clay fines, loose in place.	6	5.00	6	2	2	2											
5.00	○																			
(1.00)	○																			
6.00	○		1 No UD sample recovered		6.00	13	3	4	6											

SOIL PROFILE

Project: _____ Elevation: _____ Date: 06/06/96
 Bore Hole No: 2 Water Level: 9.45m below Logged By: D.V.A. Senarathne

Depth	Soil Symbol	Soil Classification	Description	Standard Penetration Test (Blow Test)														
				No.	Depth	N Value	Cm			Number Of Blows Per 30 Cm								
							0	20	30	10	20	30	40	50				
6.00			Greyish yellow, lateritic silty sand with 15% hard nodular gravels and 45% plastic silty fines, medium dense in place.	7	6.00	13	3	4	6									
(1.00)		SC																
7.00			Greyish to dark brown, and black coarse to fine silty lateritic sand with 35% plastic fines, medium dense in place.	8	7.00	20	5	7	8									
(1.00)		SC																
8.00			Dark greyish brown, lateritic coarse to fine sand mainly medium ground with 35% plastic fines, very nearly dense in place.	9	8.00	27	6	9	12									
(1.00)		SC																
9.00			Dark greyish brown, coarse to fine lateritic sand with 50% silty clay plastic fines, medium dense in place.	10	9.00	24	4	8	12									
(1.00)		SC																
10.00			Dark reddish brown, lateritic coarse to fine sand with over 40% plastic fines.	11	10.00	38	9	12	17									
(1.00)		SC																
11.00			Yellowish to reddish brown coarse to fine but mainly medium grained lateritic sand with around 40% plastic fines, dense in place.	12	11.00	37	7	13	17									
(1.00)		SC																
12.00					12.00	32	7	10	15									

SOIL PROFILE

Project: _____ Elevation: _____ Date: 06/06/96
 Bore Hole No: 2 Water Level: 9.45m below Logged By: D.V.A. Senarath

Depth	Soil Symbol	Soil Classification	Description	Standard Penetration Test (Blow Test)										
				No.	Depth	N Value	Number Of Blows Per 30 Cm							
							0-10 Cm	10-20 Cm	20-30 Cm	30-40 Cm	40-50 Cm			
12.00			<u>COMPLETELY WEATHERED ROCK</u>		12.00	32	7	10	15					
(1.00)	x	SC	Dark reddish brown to greyish black coarse to fine mainly medium grained lateritic sand with around 50% silty moderately plastic fines, dense in place.	13										
13.00			<u>HIGHLY WEATHERED ROCK</u>		13.00	50	10	19	21					
(1.00)	x	SC	Ground down to greyish white to dark reddish brown silty clayey sand with partially weathered feldspars showing rock structure with fines, stiff in place.	14										
14.00			<u>HIGHLY WEATHERED ROCK</u>		14.00	30	7	10	13					
(1.00)	x	SC	Ground down to dark reddish brown coarse to fine sand with a little gravel and friable pieces showing parent rock structure and with 35% over plastic fines, very dense in place.	15										
15.00			<u>HIGHLY WEATHERED ROCK</u>		15.00	52	11	18	23					
(1.00)	x	SM ML	Ground down to greyish brown coarse to nodular grained sand with a little gravel and un weathered feldspar showing rock foliation with slightly plastic fines, extremely dense in place.	16										
16.00					16.00	80	17	23	40					

SOIL PROFILE

Project: _____ Elevation: _____ Date: 06/06/96
 Bore Hole No: 2 Water Level: 9.45m below Logged By: D.V.A. Senarathne

Depth	Soil Symbol	Soil Classification	Description	Standard Penetration Test (Blow Test)																	
				No	Depth	N Value	Number Of Blows Per 30 Cm														
							0 CM	10 CM	20 CM	30 CM	10	20	30	40	50						
25.00					25.00	88	21	27	40												
(3.00)	•••••	SP	<u>MODERATELY WEATHERED ROCK</u> Ground down to grey rock peices with coarse sands with no fines extremely dense in place.	25																	
28.00			<u>HOLE TERMINATED</u>																		

SOIL PROFILE

Project: _____ Elevation: _____ Date: _____
 Bore Hole No: 3 Water Level: 9.16m below Logged By: D.V.A. Senaratne

Depth	Soil Symbol	Soil Classification	Description	Standard Penetration Test (Blow Test)																	
				No	Depth	N Value	Number Of Blows Per 30 Cm														
							10 Cm	20 Cm	30 Cm	10	20	30	40	50							
0.00																					
(1.00)		GM SM	Dark brown coarse to fine lateritic gravels with cobble and around 10% - 20% moderately plastic fines, loose in place.	1																	
1.00					1.00	21	6	8	7												
(1.00)		SC	Dark reddish brown coarse but really mainly medium gravel to fine sand with some nodular gravels and 25% plastic fines, dense in place.	2																	
2.00					2.00	17	3	7	7												
(1.00)		SC	Dark reddish brown, coarse to fine gravelly sand with around 30% plastic fines, medium dense in place.	3																	
3.00					3.00	30	10	10	10												
(1.00)		SC	Dark greyish to slightly reddish brown silty sand with 30% moderately plastic fines, dense in place.	4																	
4.00					4.00	7	2	3	2												
(1.00)		SC	Dark greyish and reddish brown coarse to fine lateritic sands with 30% moderately plastic fines, loose in place.	5																	
5.00					5.00	14	5	5	4												
(1.00)		SC	Dark grey coarse to fine lateritic sand with 30% hard nodular gravels and 30% plastic fines, medium dense in place.	6																	
6.00					6.00	10	3	4	3												

SOIL PROFILE

Project: _____ Elevation: _____ Date: _____
 Bore Hole No: 3 Water Level: 9.16m below Logged By: D.V.A. Senarathne

Depth	Soil Symbol	Soil Classification	Description	Standard Penetration Test (Blow Test)																
				No.	Depth	N Value	Cm			Number Of Blows Per 30 Cm										
							10	20	30	40	50									
6.00					6.00	10	3	4	3											
(1.00)	x	SM	Dark grey reddish brown coarse to fine lateritic sand with 20% hard nodular cobbles and gravels around 10% plastic fines, medium dense in place.	7																
7.00	x				7.00	13	3	5	5											
(1.00)	x	SM	Greyish brown, coarse to fine lateritic sand with 15% hard cobbles and gravels and 10% non to slightly plastic fines, medium dense in place.	8																
8.00	x				8.00	31	8	10	13											
(1.00)	o	SP GP	Dark brown, coarse to fine gravels mixed with coarse sands and less than 5% non plastic fines, dense in place.	9																
9.00	x				9.00	42	10	13	19											
(1.00)	x	SM ML	Yellowish grey, medium to fine lateritic sand with 5% hard nodular gravels and over 60% slightly plastic fines dense in place.	10																
10.00	x				10.00	51	19	20	12											
(1.00)	x	SP SM	REDDISH YELLOW MEDIUM TO FINE GRAINED SAND WITH A TRACE OF HARD NODULAR GRAVELS AND SLIGHTLY OVER 5% VERY SLIGHTLY PLASTIC FINES VERY DENSE IN PLACE																	
11.00	x																			
			<u>COMPLETELY WEATHERED ROCK</u>																	
			<u>HOLE TERMINATED</u>																	

SOIL PROFILE

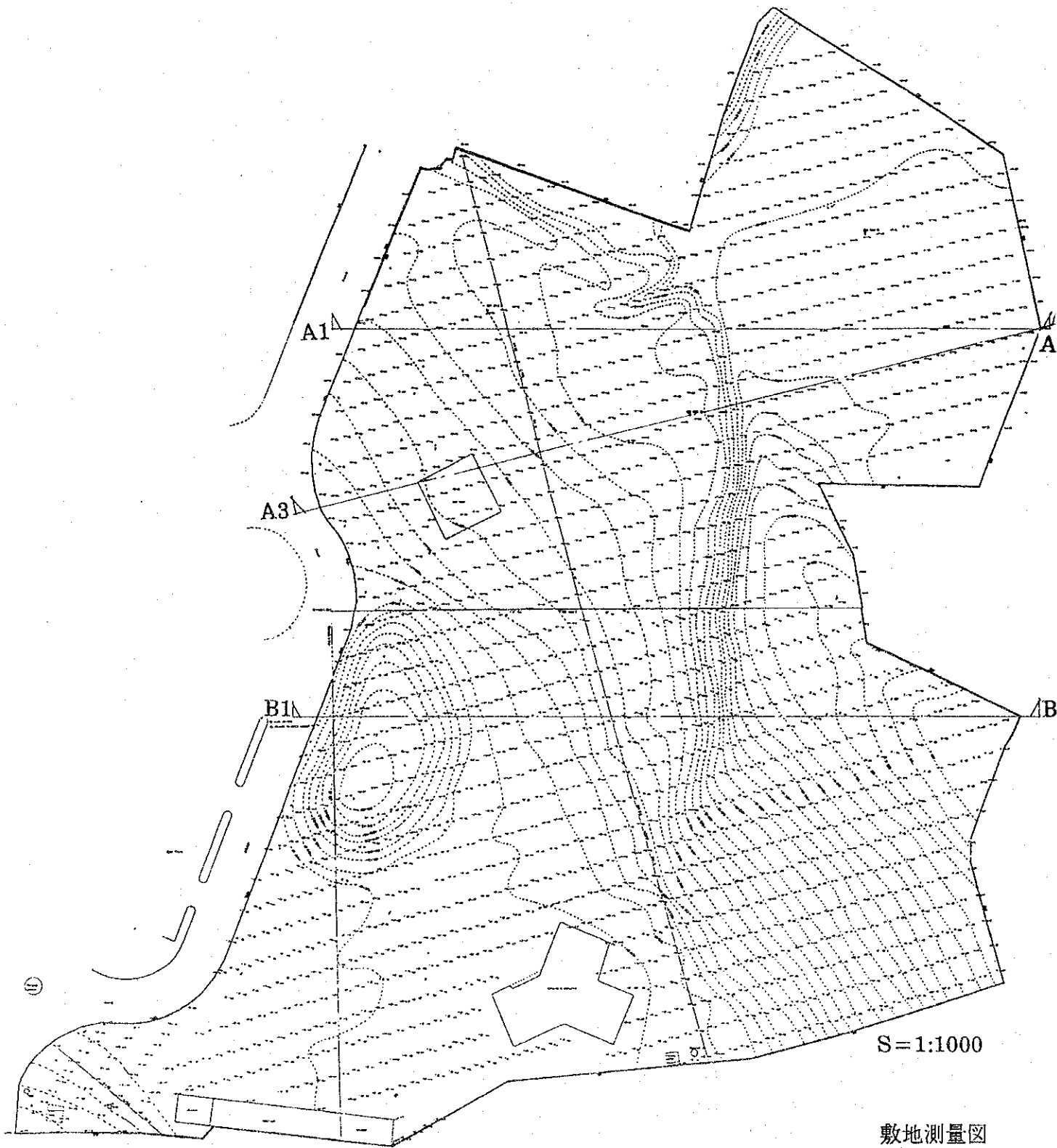
Project: _____ Elevation: _____ Date: _____
 Bore Hole No: 4 Water Level: _____ Logged By: D.V.A.Senaratne

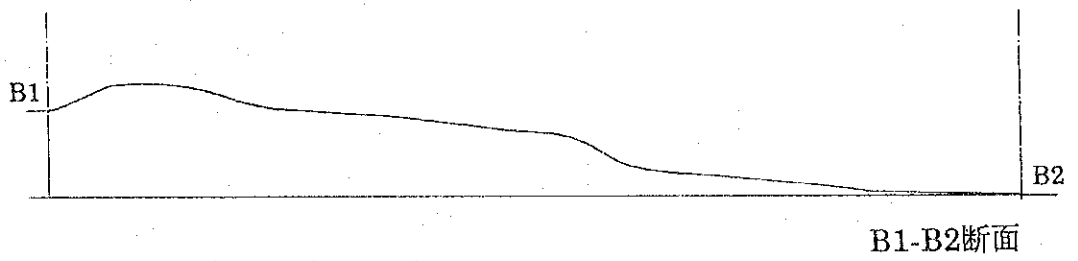
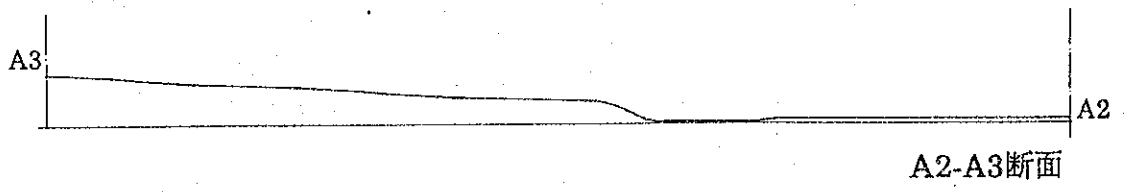
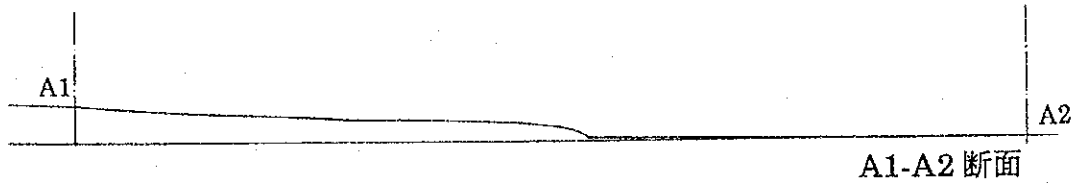
Depth	Soil Symbol	Soil Classification	Description	Standard Penetration Test (Blow Test)															
				No	Depth	N-Value	Number Of Blows Per 30 Cm												
							0 CM	10 CM	20 CM	30 CM	40 CM	50 CM							
0.00																			
(1.00)		SM	Greyish yellow coarse but mainly medium grained to fine lateritic sand with 10 to 15% moderately plastic fines dense in place.	1															
1.00					1.00	44	11	15	18										
(1.00)		SM	Yellowish to reddish brown coarse to fine, mainly medium grained sand with 10 to 15% silty fines very dense in place.	2															
2.00					2.00	54	17	15	22										
(1.00)		SC	Yellowish to reddish brown coarse to fine lateritic sand with some hard nodular gravels and with around 30% plastic fines very dense in place.	3															
3.00					3.00	30	7	10	13										
(1.00)		SC	Greyish white to yellowish brown coarse to fine sand with 10% hard nodular gravels and 25% silty fines dense in place.	4															
4.00					4.00	53	9	14	30										
(1.00)		SC	Yellowish to bright reddish brown coarse to fine mainly medium graine sand with 30% moderately plastic fines very dense in place.	5															
5.00					5.00	61	10	16	35										

SOIL PROFILE

Project : _____ Elevation : _____ Date : _____
 Bore Hole No : 4 Water Level : _____ Logged BY D.V.A. Senarathne

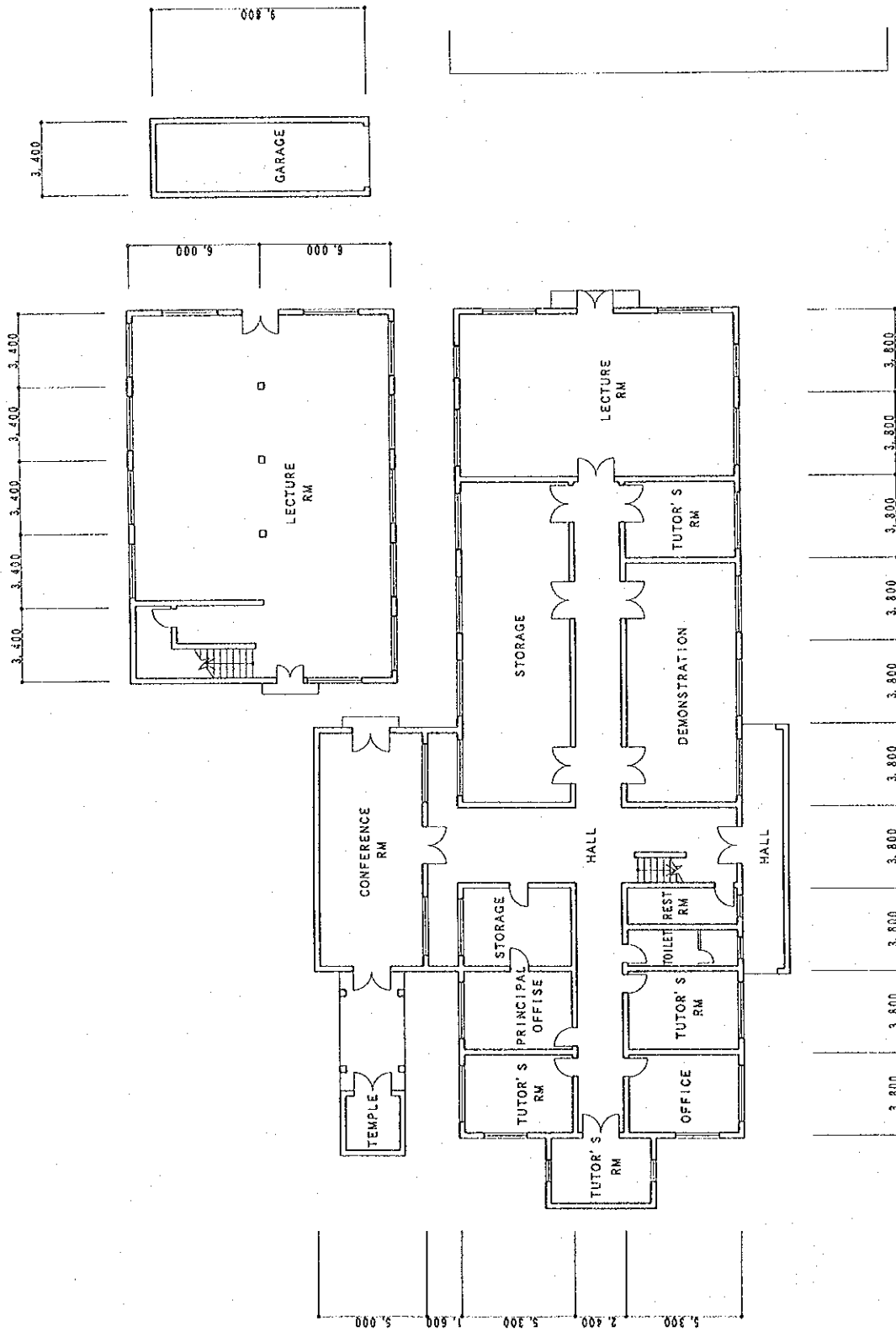
Depth	Soil Symbol	Soil Classification	Description	Standard Penetration Test (Blow Test)																
				No	Depth	N Value	Number Of Blows Per 30 Cm													
							0-15	15-30	30-45	45-60	60-75									
5.00			<u>COMPLETELY WEATHERED ROCK</u> Greyish to yellowish brown mainly medium grained to fine sand with 15% hard rock and lateritic nodules and 5% non plastic fines very dense in place.		5.00	61	10	16	35											
(1.00)		SP																		
6.00			<u>HOLE TERMINATED</u>		6.00															





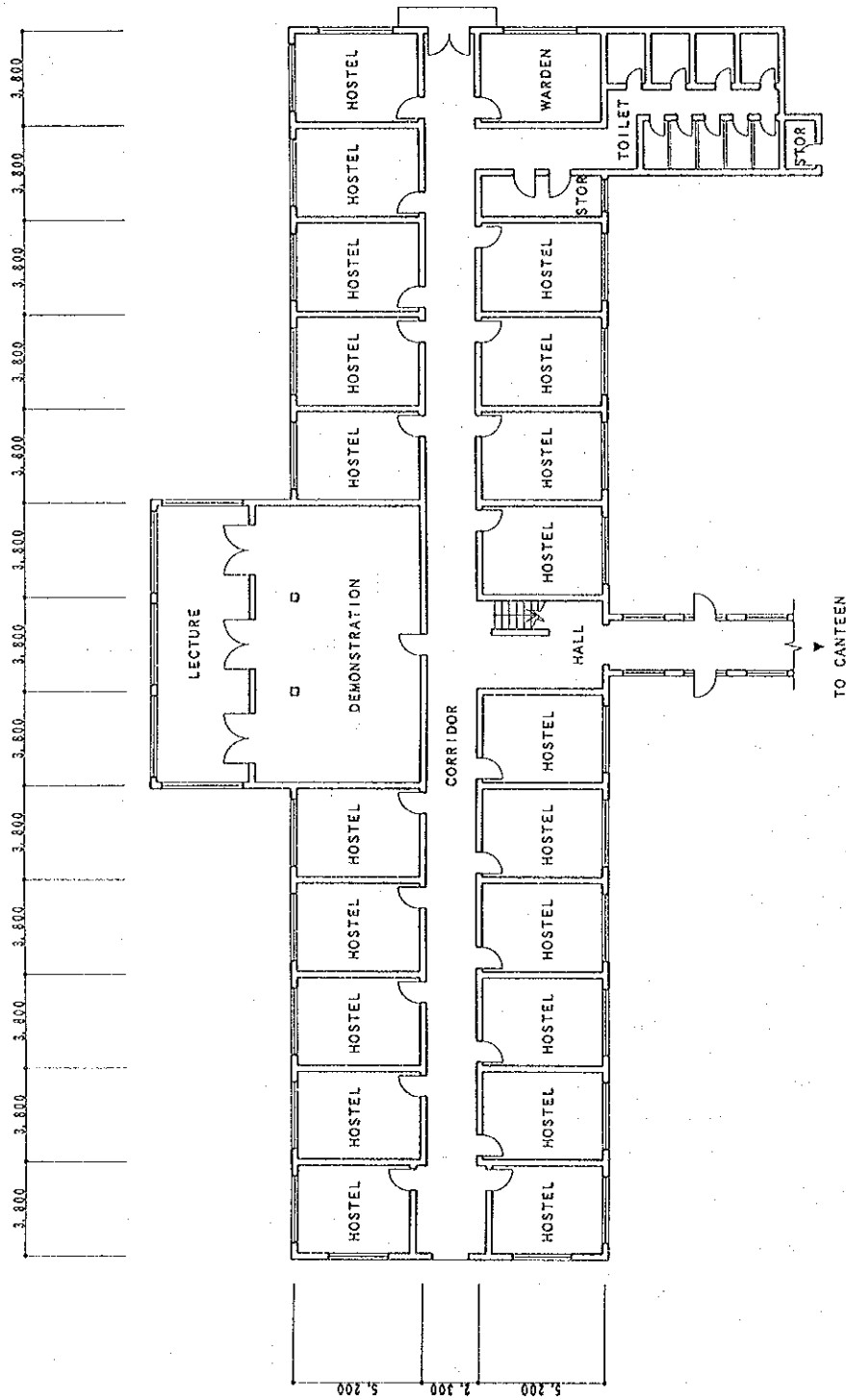
S = 1:1000

② コロンボ看護学校実測図

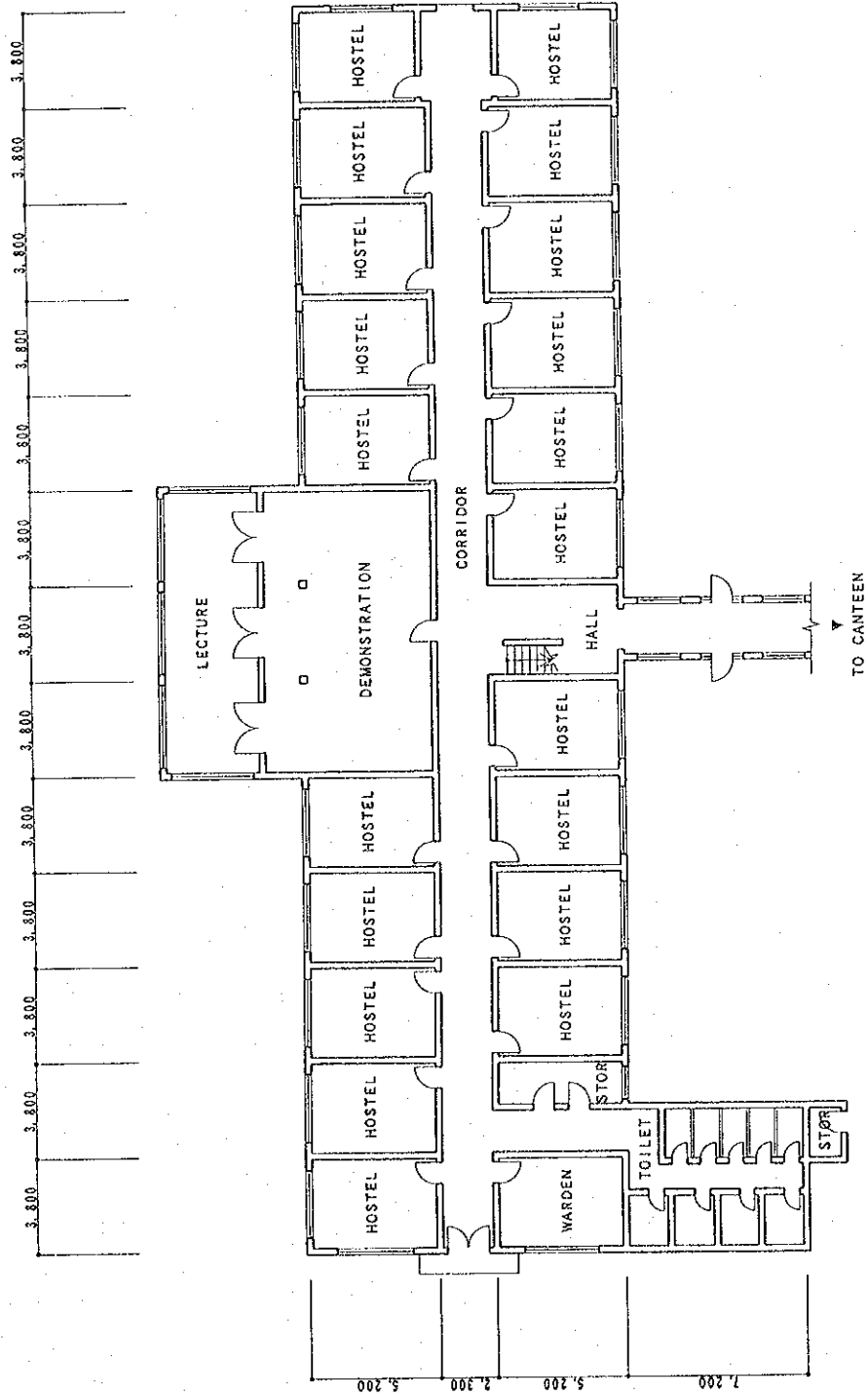


GROUND FLOOR

SCHOOL OF NURSING COLOMBO MAIN BUILDING

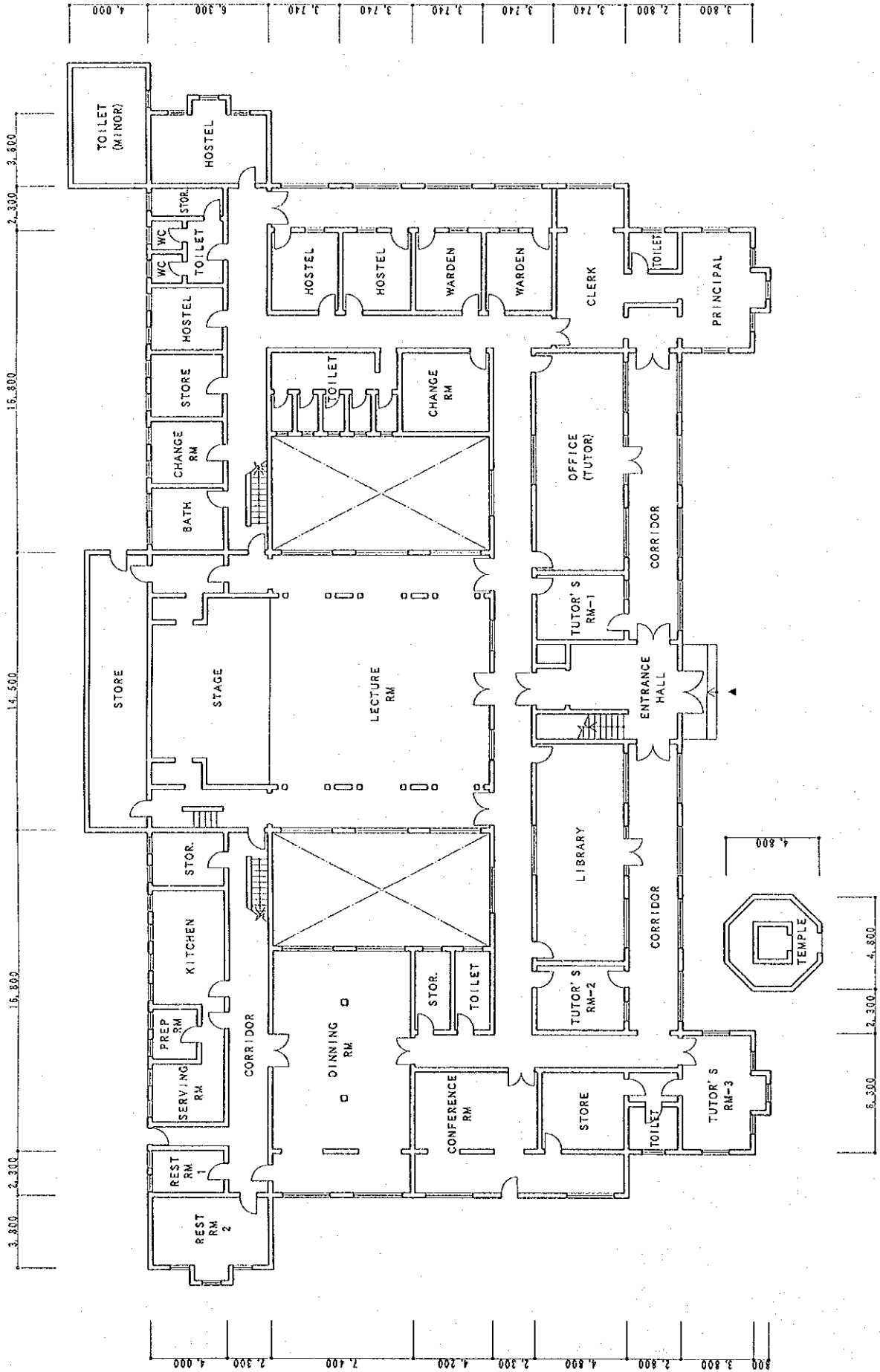


GROUND FLOOR, FIRST FLOOR, SECOND FLOOR PLAN



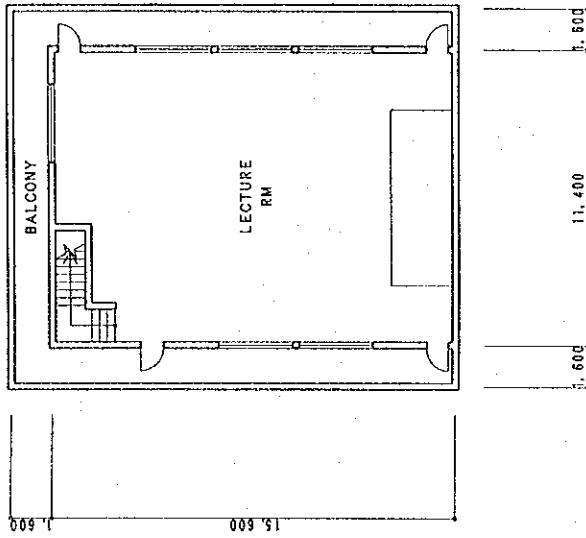
GROUND FLOOR, FIRST FLOOR, SECOND FLOOR PLAN

③ キャンディー看護学校実測図

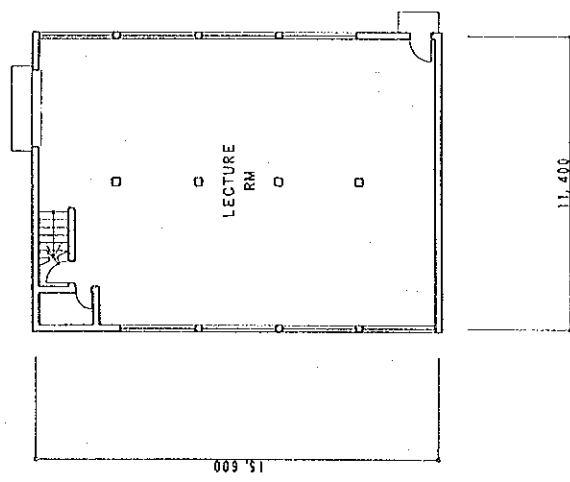


GROUND FLOOR

SCHOOL OF NURSING KANDY MAIN BUILDING



FIRST FLOOR PLAN



GROUND FLOOR PLAN

SCHOOL OF NURSING KANDY LECTURE BUILDING



④ 現行カリキュラム

看護学校のカリキュラムは、1975年に改訂されたものが使用されている。近年部部的な見直しが行われ一部はすでに実施されているが、正式なものとなっていない。以下は現行カリキュラムの調査結果をまとめたものである。

部門	単位	内容	時間数	A V	調理実習室	実験室	他施設訪問	演習項目	必要機材・物品	院外学習	
基礎看護学	1	看護概論	12	○							
	2	看護原理	2								
	3	環境整備	21	○				ベッドメイキング、清掃、看護計画・日誌・カーデックス等の使用方法	ベッド、寝具、床頭台、椅子、ベッドテーブル、清掃道具一式、消毒薬、看護日誌、カーデックス、看護計画用紙		
	4	患者の入院受け入れ	3					患者の入院受け入れ、退院純美 退院後のベッド処理	ベッド、寝具、床頭台、椅子、ベッドテーブル、清掃道具一式、消毒薬、看護日誌、カーデックス、看護計画用紙		
	5	患者の衛生管理	32	○	○			口腔ケア、清拭、手洗い、洗髪、頭部ケア、調理実習、食事介助、便・尿器介助と処理、体位変換、患者移動	口腔ケア、清拭・洗髪セット、モデル人形、便・尿器、架台数、洗浄ブラシ、汚物缶、計量器、はかり、安楽枕、車椅子、担架、バックレスト、離被架、歩行器		
	6	患者の精神的ケア	2								
	7	一般的身体検査	18					* 検査時の介助: 患者の準備、機材の準備、医師の解除、患者の介助 * 患者観察: taion, myakuhaku, 呼吸、血圧、口腔・直腸等の観察 * 検査: 検体の収集、尿検査(比重、蛋白、糖、アセトン、ビリルビン)	診察セット、診察台、椅子、ベースン・タオル、消毒薬、脱衣箆、バスタオル、血圧計、聴診器、体温計、ペンライト、身長計、体重計、座高計、舌圧子、直腸鏡、メジャー、検尿コップ、試験紙、比重計		
	8	温・冷法、湿布	12				○	温・冷法、湿布、ギブス、圧迫法	温枕、氷枕、氷嚢、湿布薬、包帯、ギブスセット、三角巾	水治療施設	
	9	腸障害を持つ患者のケア	15					浣腸、保留浣腸、腸洗浄、排ガスチューブ、座薬挿入	浣腸セット、排気管、座薬、ゴム手袋、腸洗浄セット、膿盆、便器		
	10	薬品管理	14	○			○	駐車: 皮内、皮下、筋肉、静脈、蒸気吸入 酸素吸入: カテーテル・マスク・テント薬剤の準備(内服)・与薬介助	注射器、針、シユミレーター、酒精綿、絆創膏、静脈注射セット、ネプライザー、酸素吸入セット、与薬トレイ、調剤用品セット	血液バンク	

部門	単位	内容	時間数	A V	調理実習室	実験室	他施設訪問	演習項目	必要機材・物品	院外学習
A 管理部門	11	救急法、包帯法	22	○				患者輸送(赤十字による) 人工呼吸(マウス法) 防災訓練(消防士による) 三角巾・包帯・副木	担架、人口蘇生人形、蘇生器、三角巾、包帯、副木	
	12	内科的無菌法	8	○				隔離部屋の設置 手洗い	ベースン・架台、タオル、石鹸、消毒薬	
	13	外科的無菌法	20				○	手洗い(ブラシ)、ガウン・手袋・マスク装着、消毒ガスの準備、外科器材の準備、包帯交換、抜糸、剃毛	手洗いブラシ、タオル、石鹸、ガウン、手袋、マスク、帽子、カスト、ガーゼ、外科機材セット、煮沸消毒器、剃毛セット、包帯交換セット	CSD
	14	看護婦の介助を必要とする治療・診断法	18					胃洗浄、経管栄養、腰椎穿刺・気管切開の器械準備及び介助、放射線検査解除	胃洗浄セット、シユミレーター、経管栄養セット、腰椎穿刺・気管切開セット、消毒セット、手袋、モデル人形	
	15	泌尿器系に障害を持つ患者のケア	12					導尿(男性、女性)、膀胱洗浄、カテーテル管理	導尿セット、シユミレーター、所独セット、手袋、カテーテル、膿盆	
	16	眼科・耳鼻咽喉科における看護ケア	6				○	眼科: 点眼、軟膏塗布 耳鼻科: 点鼻、点耳、うがい、スプレー	点眼薬、軟膏、点眼棒、軟膏ペラ、鼻鏡、耳鏡、点鼻、点耳薬、膿盆	眼科診療所
	17	陰部の看護ケア	2					陰部洗浄、膣洗浄(産婦人科医による)	膣鏡	
	18	看護実践における共通課題	14					死後の処置、抑制法	ベッド柵、抑制帯、ガーゼ、ストレッチャー	
	19	リハビリテーション分野での看護婦の役割	2				○			老人ホーム
社会学	1	概論	2							
	2	家族	8							
	3	グループ共同体	9							
	4	グループ活動	5							
	5	文化	9							
	6	都市化と産業化	6							
	7	総括	6							
心理学	1	概論	3							
	2	成長と発達	13	○						
	3	高度な精神的成長課程	7							
	4	個性	7							
	5	行動の動機づけ	5							
	6	行動の社会的見地	4							
	7	実践的考察	6							

部門	単位	内容	時間数	A V	調理実習室	実験室	他施設訪問	演習項目	必要機材・物品	院外学習
看護倫理	1	概論	9	○			○			映画館、美術館、博物館
	2	専門職としての適応	5							
	3	看護教育	6							
	4	リーダーシップ	3							
	5	看護活動の場	3							
看護歴史	1	看護技術史	4							
	2	看護職業史	10							
	3	看護職能	5							
	4	最新の看護の傾向と看護教育	15							
	5	看護関連国際組織	6							
解剖・生理学	1	人体構造の概論	10				○			コミュニティセンター
	2	支持と運動の関係構造	5				○			
	3	身体の均衡と調整の関係構造	16			○				眼科診療所
	4	身体の代謝作用の関係構造	58					血液像観察(顕微鏡下)、凝固時間、血液型、RH	顕微鏡	
	5	再生機能の関係構造	14				○			家族計画センター
微生物細菌学	1	概論	7							
	2	微生物の臨床検査	5			○	○			細菌検査室
	3	非病原菌の活動	3							
	4	細菌による疾病の予防法	6				○			CSSD
	5	感染症・免疫・アレルギー	6			○				
	6	病原菌	11	○		○				
微生物細菌学	1	栄養学の概論	4							
	2	栄養と国及び国際的食糧問題	8				○			栄養回復センター
	3	食品科学	8	○						
	4	食物の熱量	6		○			カロリー計算法	食品モデル、計り	
	5	水と無機質	6							
	6	ビタミン	12	○						
	7	バランスのとれた囁託	10							

部門	単位	内容	時間数	A V	調理実習室	実験室	他施設訪問	演習項目	必要機材・物品	院外学習
	8	食品の衛生	8							
	9	病人のための調理法	14		○			飲物: オレンジジュース、アルプミン・ガーリック水、紅茶、コーヒー、コリアンダー、スープ、普通食、病院食	調理実習用品	
	10	栄養不足からくる身体の変化	4	○						
	11	治療のための食餌療法	4							
薬理学Ⅰ	1	概論	4							
	2	薬剤の量と計算法	7					薬剤の準備	与薬車、薬品トレイ、調剤用品	薬剤室
	3	薬品管理	8							
	4	薬品分類	6							
薬理学Ⅱ	1	概論	3							
	2	薬品の副作用	33	○						
	3	多種薬剤の区分け	14							
病理学	1	概論	4							
	2	炎症・感染	2							
	3	循環障害	3							
	4	成長障害・新生物	3							
	5	検査室における検査法	7							
基礎科学	1	科学の概論	3							
	2	物質とエネルギー	5			○		混合と合成、酸・不純物と塩、金属と無金属、酸素・二酸化炭素		
	3	物質の構造	10			○		物理的特性を理解する		
	4	物質的性格	2			○		作用、動作、摩擦について理解する		
	5	力・動作・摩擦	3			○		てこ、滑車、車輪・車軸、スクリュウ、斜面		
	6	機械の働き	3			○		熱伝導、膨張、特性熱		
	7	熱と熱エネルギー	4			○		スペクトル、反射、屈折、レンズの使用		
	8	光と光エネルギー	4			○		光の特性、伝導		
	9	音と音エネルギー	3			○		音の特性、伝導		
	10	磁力	2			○				
	11	電流	0							

部門	単位	内容	時間数	A V	調理実習室	実験室	他施設訪問	演習項目	必要機材・物品	院外学習
	12	X線	3							
	13	有機物	5							
	14	生命と物質・エネルギー	8							
精神科看護	1	精神症概論	1							
	2	精神科概論	5							
	3	因子とりハビリテーション	8				○			精神病院、保育所、LRII
	4	入退院	8							
	5	コミュニケーション	12							
	6	ストレスとその影響	10	○						
	7	精神症	10							
	8	精神科治療	10							
	9	精神科看護	7	○						
	10	一般的症例	6							
	11	看護上の問題点	5	○						
		12	総括	4						
地域保健医療	1	スリ・ランカにおける一般的管理体制	4							
	2	スリ・ランカの保健サービス	24				○			保健所
	3	社会生活の中における健康	8				○			保健所、住宅・貯水池、下水処理場・食料品店・畜殺場、感染症関連施設
	4	家族保健	8							
	5	個々の健康	4				○	母親学級指導		保健所
	6	地域における精神衛生	3					各年齢層に応じた料理	調理用具一式	
	7	栄養問題と病院での栄養指導	2							
	8	公衆衛生の倫理								
	9	人口統計学					○	統計の収集		MOH, オフィス
	10	地域医療における主要な問題点	4				○			呼吸器・結核病院、癩病院、地方・州立病院

部門	単位	内容	時間数	A V	調理実習室	実験室	他施設訪問	演習項目	必要機材・物品	院外学習
	11	家族保健看護	65		○		○	各年齢層に応じた食事	調理用具一式	
	12	学校保健	10				○	保健計画・指導		学校
	13	産業保健	16				○			工場見学
	14	地域における精神衛生	5				○			一般家庭、少年院、留置所等
	15	保健・福祉の地域向上に関する保健医療チームの責任	8				○			地域サービス機関
	16	環境衛生								
	17	社会福祉					○			赤十字、社会学者、経済学者、宗教家、サルボダヤ(NGO)
健 康 育	1	概論	1							
	2	指導と学習課程	24							
内 科 ・ 外 科 学	1	成人患者のケア	19				○			CSSD、CNEOリハビリセンター
	2	内科・外科看護の予防法	9			○	○			臨床検査室
	3	感染症患者のケア	18	○			○	ガウンテクニック、顕微鏡検査、予防注射・BCG	ガウン・マスク・帽子、顕微鏡、予防注射・BCG用注射器、酒精綿、トレイ、冷蔵庫	予防接種キャンペーン、IDH、癩病院、結核病院、性病科病院
	4	術前・術中・術後患者のエカー	40				○	術前処置、患者輸送、手術器械の純美・使用方法、術後管理	剃毛セット、ストレッチャー、手術器械セット、消毒器、手術用リネン、記録用紙、酸素吸入器、吸引器、包帯交換セット	手術室、SARVODAY A
	5	腫瘍を持つ患者のケア	7				○			ガンセンター
	6	消化器系疾患を持つ患者のケア	46					X線読影、胃吸引、経管栄養、胃切除術後の栄養管理、ストマの管理、肝生検、ドレナージ管理	シャークカステン、吸引器、経栄養セット、調理用具一式、ストマ用具セット、肝生検セット、ドレナージチューブセット	
	7	代謝障害・内分泌系疾患を持つ患者のケア				○		治療食・糖尿病食	調理用品セット、計り	
	8	泌尿器系疾患を持つ患者のケア	12	○				腎盂検査準備	腎盂検査セット、カテーテル、シャークカステン、包帯交換セット	

部門	単位	内容	時間数	A V	調 理 実 習 室	実 験 室	他 施 設 訪 問	演習項目	必要機材・物品	院外学習
	9	呼吸器疾患を持つ患者のケア	17	○				胸腔穿刺・気管支鏡・食道鏡準備、胸腔ドレナージ管理	胸腔穿刺・気管支鏡、食道鏡、ドレナージチューブ、持続吸引器、包帯交換セット	
	10	心臓・血管系疾患を持つ患者のケア		○	○			心電図読影、呼吸器の使用 方法、ドレナージ管理、 骨髄穿刺の準備、貧血治療食	心電計、人工呼吸器、ドレナージチューブ、骨髄穿刺セット、包帯好感セット	
	11	神経・脳外科疾患を持つ患者のケア	17	○			○	出血した患者のケア	ベッド、砂嚢、安楽枕	リハビリ施設
	12	筋・骨格疾患を持つ患者のケア					○	骨折、切開術後のケア	ベッド、砂嚢、安楽枕、 離被架、牽引	ワークショップ
	13	乳房疾患を持つ患者のケア	2					乳房切除術後の機能回復運動		
	14	皮膚疾患を持つ患者のケア	10					火傷患者の処置、湿潤創の処置、消化器の使用 方法	0.5%硝酸銀、消毒セット、 ガーゼ、軟膏べら、 膿盆、包帯交換セット、 消化器	
	15	眼疾患を持つ患者のケア	8	○				眼検査に使用する器材分 美、洗浄、軟膏塗布、圧 迫・包帯報	眼鏡、眼圧測定器、視野 計、洗浄セット、軟膏 類、塗布棒、ガーゼ、包 帯、眼帯	盲学校、眼科 病院
	16	耳鼻咽喉疾患を持つ患者のケア						気管切開介助、吸引、鼻 戰場、耳の包帯交換	気管切開セット、吸引 器、カテーテル、鼻戰場 セット、包帯交換セット	ENT病院
	17	婦人疾患を持つ患者のケア		○				婦人科に使用する検査・ 器材の準備、洗浄、腔鏡 挿入、受胎調節、性病の 幹線予防指導	生検セット、妊娠判定テ スト、洗浄セット、腔 鏡、腔鏡、内診台、受胎 調節セット	マハラガマ研 究所
	1	母子看護概論	2							
	2	スリ・ランカにおける母子保健サービスと発展	5							
	3	スリ・ランカにおける家族保健	3							
	4	妊娠の前段階	7							
	5	妊産婦のケア	15						トウラベ、妊婦触診モデル、 骨盤計	
	6	周産期のケア	10					正常分娩の準備・介助、 沐浴	分娩ファントム、分娩セッ ト、沐浴人形、沐浴セッ ト	
	7	出産後のケア	4					哺乳介助、母親への指導	乳房マッサージ模型、調 乳セット、搾乳器	
	8	新生児のケア	11						コット、直腸体温計、自 計測器	
	9	家族保健								

部門	単位	内容	時間数	A V	調理実習室	実験室	他施設訪問	演習項目	必要機材・物品	院外学習
母性小児看護学	10	小児の成長と発達	6				○			保育所、小学校、聾唖学校、少年院
	11	疾病を持つ小児のケア	41				○	コットメイキング、入院準備、遊戯道具作成、与薬管理、幼児食実習、食事介助、吸入、気管切開ケア、酸素テントの管理、点滴管理、腰椎穿刺介助、便・尿介助、カイセンのケア、糖尿病児のケア、人工呼吸器に使用	小児用ベッド、寝具・与薬セット、バイタルラインセット、調理道具、遊戯道具作成材料、ネプライザー、気管切開セット、酸素テント、点滴架、点滴架台、腰椎穿刺セット、便・尿器、消毒セット、人工呼吸器、実習人形	用語学校、保健所、家庭、学校
	12	青年期(12歳以上)	5							
	13	小児学校保健	1							
	14	小児看護管理	9							
家族計画	1	概論								
	2	人口統計								
	3									
	4									
	5			○			○			
	6									身体障害者施設
病棟管理	1	概論	3							
	2	看護管理	5							
	3	病棟管理	5							
	4	職員管理	3							
	5	監督・式	4							
	6	スタッフ育成	4							
	7	公的な関係	3							
	8	看護規定法規	5							
英語			100							

カリキュラムの詳細と講義室(教室、実習室)毎の授業時間数

カリキュラム		教室(大)	教室(小)	看護実習室	科学実習室	調理実習室	訪問
基礎看護 235時間	1. 看護概論	12					
	2. 看護行動指針	2					
	3. 環境準備	6		15			
	4. 入退院			3			
	5. 患者の衛生	10	2	10		10	
	6. 患者のニーズ	2					
	7. 健康状態の診断	6		6	6		
	8. 発熱悪寒水治療	6		6			①
	9. 消化器系等		15				
	10. 医薬品の準備		10	4			①
	11. 応急処置	12	2	8			
	12. 無菌処理		4	4			
	13. 外科無菌処理		10	10			①
	14. 臨床検査		15	3			①
	15. 膀胱・尿		12				
	16. ENT		6				①
	17. 婦人科		2				
	18. 共通問題		6	8			①
	19. リハビリ		2				①
	計		56 (24%)	86 (37%)	77 (33%)	6 (2%)	10 (4%)
解剖生理学 1年次 120~ 130時間	1. 人体概論	10					①
	2. 筋肉・骨格		8				
	3. 神経システム		23				①
	4. 循環・増再生システム		65				
	5. 生殖機能		14				①
	計		10 (8%)	110 (92%)			
基礎科学 60時間	1. 科学概論	3					
	2. 物質とエネルギー		1		4		
	3. 物質の構造		2		8		
	4. 物理的性格		1		2		
	5. 力、動き、摩擦		1		2		
	6. 機械の働き		1		2		
	7. 熱と熱エネルギー		2		2		
	8. 光と光エネルギー		2		2		
	9. 音と音エネルギー		1		2		
	10. 磁力		1		2		
	11. 電流		1		2		
	12. X線		3				①
	13. 有機物		2		3		
	14. 生命と物質及びエネルギー		3		5		
	計		3 (5%)	21 (35%)		36 (60%)	
微生物学 56時間	1. 微生物学概論	7					①
	2. 顕微鏡実習				6		①
	3. 微生物の働き	4	3				①
	4. 疾患の予防	3	7				
	5. 感染・免疫・アレルギー	3	7				
	6. 組織	3	13				①
	計		20 (36%)	30 (53%)		6 (11%)	
看護倫理 30時間	1. 概論	10					①
	2. 看護心得	6					
	3. 看護教育論	6					
	4. 指導力	4					
	5. 看護職の現状	4					
	計		30 (100%)				

カリキュラム		教室(大)	教室(小)	看護実習室	科学実習室	調理実習室	訪問
看護史 40時間	1. 看護技術史	4					
	2. 看護職業史	10					
	3. 看護職能	5					
	4. 看護教育とサービス	15					
	5. 看護関連国際組織	6					
	計		40 (100%)				
公衆衛生学 104時間	1. スリランカの現状	2	2				
	2. スリランカの保健医療	4					
	3. 生活と健康	4	7				①
	4. 家族保健	4	4				
	5. 保健衛生と疾患	4					
	6. 精神症と環境	2	3				
	7. 病院における栄養指導		2				
	8. 看護と公衆衛生	2	3				
	9. 人口の統計的研究	2	3				
	10. 公衆衛生の問題点	6	6				
	11. 家族保健看護	11					
	12. 学校保健	2	4				①
	13. 社会保健	2	4				①
	14. 精神症と地域社会	4	4				
	15. 保健指導	2	3				
	16. 環境衛生	2	2				
	17. 社会福祉	2	2				①
計		55 (53%)	49 (47%)				
栄養学 64時間	1. 概論	4					
	2. 栄養と食糧問題		1			5	①
	3. 食品科学		3			5	①
	4. カロリー		4			4	
	5. 水と含有物の働き		2			4	
	6. ビタミン		3			3	①
	7. 食事と栄養		10				
	8. 食品衛生	2					
	9. 栄養食	6					
	10. 栄養不良症	4					
	11. 病気と食事	4					
	計		20 (31%)	23 (36%)		7 (11%)	14 (22%)
薬学その1 10th- 32nd 24時間	1. 概論	4					
	2. 調剤法		3			4	
	3. 投与方法		4			4	①
	4. 症例別授業		5				
	計		4	3		4	
薬学その2 56時間	1. 消毒の効果	3					
	2. 対生理機能効果	13	10			10	
	3. 投与薬様括、副作用、毒物等		4			10	
	計		20 (27%)	26 (35%)		28 (38%)	
心理学 1年 2nd W- 45時間	1. 概論	3					
	2. 人の成長と発達	4	10				①
	3. 心理的因子	6	2				
	4. 個人差	2	3				
	5. 心理誘因	2	3				
	6. コミュニケーション	4					
	7. 看護における心理学		6				
	計		21 (47%)	24 (53%)			

カリキュラム		教室 (大)	教室 (小)	看護 実習室	科学 実習室	調理 実習室	訪問
社会科学 1年 2ndW- 45時間	1. 概論	2					
	2. 家族	2	6				
	3. 地域社会	3	6				
	4. 地域共同体	5					
	5. 文化	3	6				
	6. 都市化・工業化	2	4				
	7. 看護職の公共責任	2	4				
	計	19 (42%)	26 (58%)				
英語 1年 100時間	省略	100					
	計	100 (100%)					
病理学 20時間	1. 概論及び細胞	4					
	2. 炎症・感染	2	1				
	3. 循環障害	3					
	4. 成長障害、新生物	1	2				
	5. 検査	2	5				
計	12 (60%)	8 (40%)					
内科・ 外科看護 309時間	1. 成人看護	18	6				①
	2. 感染予防	4	5	2			①
	3. 感染症	55					①
	4. 周手術	30	10	2			①
	5. 腫瘍	5					①
	6. 胃腸消化管	46	4				①
	7. 代謝・内分泌システム	13				2	
	8. 泌尿生殖器	5	7				
	9. 呼吸器	17					
	10. 心臓血管	23					
	11. 神経・神経外科	9	8				①
	12. 筋肉・骨格システム	8		2			
	13. 肺	3	4	2			
	14. 皮膚	4	6	2			
	15. 眼	4	4	2			①
	16. NET	7					①
	17. 婦人科	11					①
計	262 (80%)	54 (16%)	12 (3%)		2		
カリキュラム		教室 (大)	教室 (小)	看護 実習室	科学 実習室	調理 実習室	訪問
母子看護 105時間	1. 概論	2					
	2. 母子保健サービス1	5					
	3. 母子保健サービス2	3					
	4. 家族保健	7					
	5. 妊産婦の保健	12	3				
	6. 周産期	10					
	7. 産後の保健	4					
	8. 新生児	11					
	9. 家族保健						2
	10. 小児	9					
	11. 小児の疾患	10	12				
	12. 12歳以上	5					
	13. 小児学校保健	1					
	14. 小児看護管理		9				
計	79 (77%)	24 (23%)				2	
精神科看護 85→ 85時間	1. 精神症の実態把握	4					5
	2. 精神科概論						8
	3. 因子とリハビリ						8
	4. 入退院						12
	5. コミュニケーション						10
	6. ストレスとその影響						10
	7. 精神症						10
	8. 治療						4
	9. 精神症看護						5
	10. 一般的な症例						5
	11. 看護上の問題点						4
	12. 総括						81
計						81	
病棟管理 32時間	1. 概論	3					
	2. 看護管理	2	3				
	3. 看護単位管理	2	3				
	4. 職員管理		3				
	5. 管理	4					
	6. 人材育成	4					
	7. パブリックレレーション	3					
	8. 看護規定法規	5					
計	23 (72%)	9 (28%)					

看護教育課程(3年課程)のスリランカ—日本の比較

講義

単位: 時間

*1 看護史を含む
*2 講義または実習

スリランカ 看護婦教育課程			日本の現状 平成元年4月改正による		日本の改正前課程 昭和42・43年改正による	
基礎科目	基礎科学	60	人文科学	60	物理	30
	心理学	45	社会科学	60	化学	30
	社会科学	45	自然科学	60	生物学	30
	英語	100	外国語	120	統計学	30
			保健体育	60	社会学	30
					心理学	30
					教育学	30
					外国語	120
					体育	60
	基礎科目 計	250 (16%)	基礎科目 計	360 (18%)	基礎科目 計	390 (24%)
専門科目	医学概論	30	医学概論	30	医学概論	15
	解剖・生理学	130	解剖生理学	120	解剖・生理学	90
	微生物学	56	微生物学	45	微生物学	45
	公衆衛生学	104	公衆衛生学	30	公衆衛生学	30
	栄養学	92	栄養学	30	生化学(含栄養)	45
	薬学	74	薬理学	45	薬学	30
	病理学	20	病理学	75	病理学	45
			社会福祉	30	社会福祉	15
			関係法規	30	衛生法規	15
			生化学	30	衛生法規	15
			精神保健	45		
	専門科目 計	506 (32%)	専門科目 計	510 (26%)	専門科目 計	330 (21%)
看護科目	基礎看護学*1	275	基礎看護学	300	看護学総論	150
	内科・外科看護	330	成人看護学	315	成人看護学	495
	母子看護	105	老人看護学	90	—	—
	精神科看護	85	小児看護学	120	小児看護学	120
	病棟管理	32	母性看護学	120	母性看護学	120
	看護科目 計	827 (52%)	看護科目 計	945 (48%)	看護科目 計	885 (55%)
選択科目	—	—	選択必修*2 計	150 (8%)	—	—
講義合計	1,583 (100%)	—	1,965 (100%)	—	1,605 (100%)	—

看護教育課程(3年課程)のスリランカ—日本の比較

全課程

単位: 時間

	スリランカ 看護教育課程	日本の現状課程 平成元年4月改正による	日本の改正前課程 昭和42・43年改正による
講義	1,583 (21%)	1,815 (60%)	1,605 (48%)
臨床実習	4,836 (64%)	1,035 (35%)	1,710 (50%)
公衆衛生実習	456 (6%)	—	60 (2%)
自習学習(実習を含む)	643 (9%)	—	—
選択科目	—	150 (5%)	—
総合計	7,518 (100%)	3,000 (100%)	3,375 (100%)

JICA